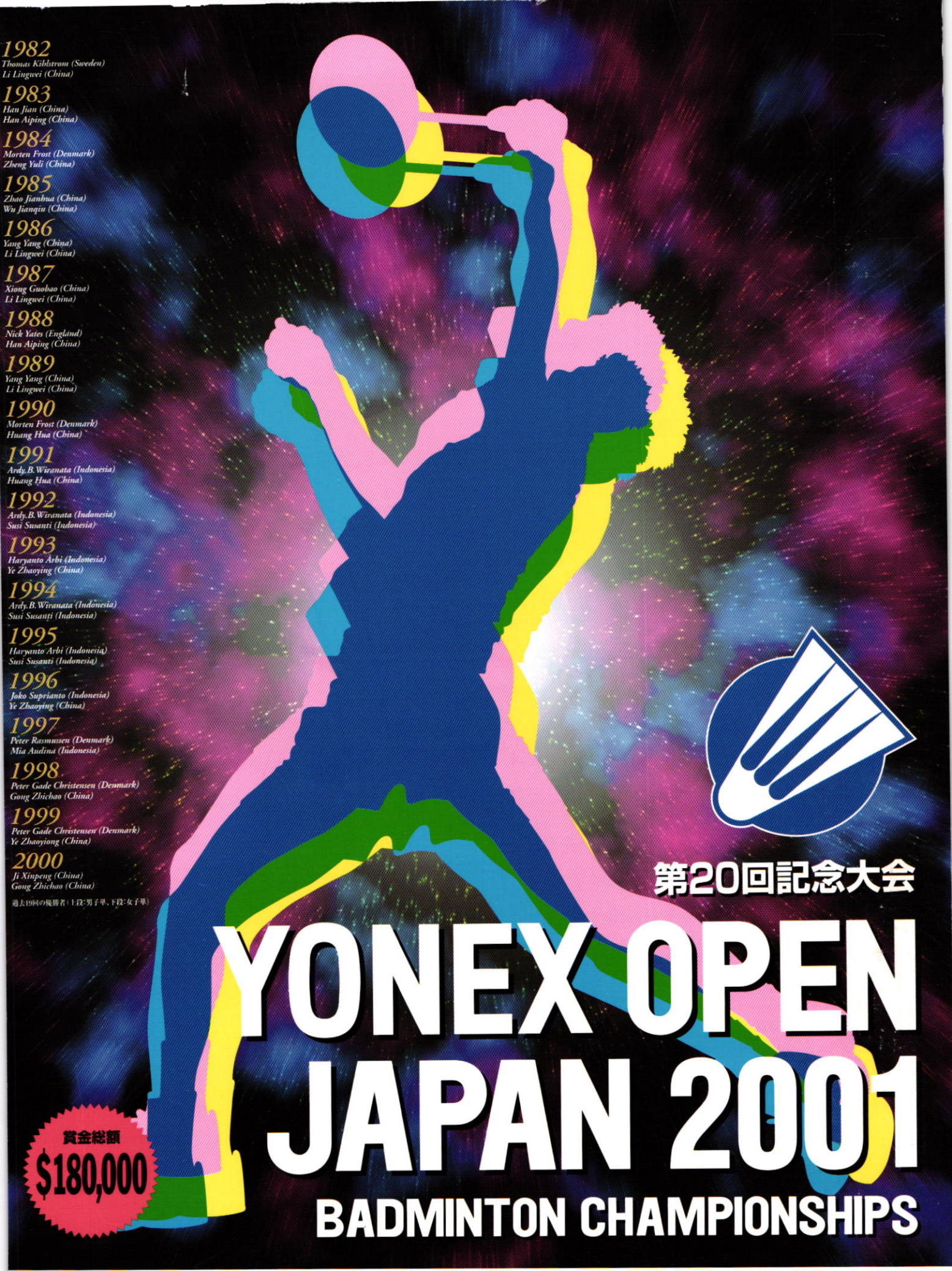


NTT東日本
YONEX
サッポロビール


Love★Beer?
SINCE 1876
350ml×24缶
SAPPORO
SINCE 1876
DRAFT BEER
SAPPORO
www.sapporobeer.co.jp/kurolabel
ビールは20歳になってから。あきかんはリサイクル。
SAPPORO
ご協力のお願い：自動販売機による酒類の販売は午後11時から午前5時まで停止されています。いいものだけを サッポロビール
サッポロ生ビール
黒ラベル

ヨネックスオープンジャパン2001
バドミントン選手権大会

CONTENTS

ごあいさつ——4
20周年特別企画●歴史を刻んだヒーローたち——6
注目海外選手紹介——11
ヨネックスオープン2001展望——18
IBF世界ランキング——25
ヨネックスオープン2000ハイライト——26
出場予定選手——28
競技日程&賞金内訳——30
大会役員——31
歴代チャンピオン——32
注目日本選手紹介——33
シドニー五輪回顧●中国に4つの「金」!——37
ヨネックス特別企画——38
大会記念グッズ——41

主催……財団法人日本バドミントン協会(N.B.A.)／公認……国際バドミントン連盟(I.B.F)／主管……東京都バドミントン協会／冠協賛……ヨネックス
協賛……NTT東日本、三洋電機、YKK、サンコー、ナガセケンコー、伊藤超短波、日本バドミントン専門店会(順不同)
オフィシャルドリンク……サッポロビール／オフィシャルシャトルコック……ヨネックス「トーナメント」／オフィシャルコート……ヨネックスコート
会期……2001年4月3日(火)～4月8日(日)／会場……東京都・国立代々木競技場第2体育館／賞金総額……US$180,000
協力……京王グループ、都村製作所、ベースボール・マガジン社(順不同)

プログラム制作●バドミントン・マガジン編集部　©2001　本誌掲載の写真、記事の無断転載および複写を禁じます。

YONEX OPEN JAPAN 2001

第20回記念大会

BADMINTON CHAMPIONSHIPS

桜内義雄

財団法人日本バドミントン協会会長

ヨネックスオープンジャパン2001が今年も世界各国から多数の優秀な選手を迎え開催される事が出来ますことは誠に喜ばしい限りであります。

21世紀最初の年に第20回の記念大会を開催できますヨネックスオープンジャパン2001は世界の大会のひとつとして今や賞金総額そして規模においても重要な大会として国際的にも認められ定着してまいりました。この大会は第1回開催の1982年から多くの参加国の選手・役員の交流の中で各国選手が競技を通して技術の向上と友情を深め素晴らしいドラマを作り上げてきました。

今回参加された選手の中には昨年のシドニーオリンピックで活躍された方々が数多くいらっしゃいます。今回の第20回大会においても最高の技術を競い多くのバドミントン愛好者に感動を与えるような活躍を期待しております。

この大会を通して役員・選手の国際親善と交流が一層発展する事を希望し、また大会開催にあたりご尽力いただいた関係者の方々に心から感謝申し上げご挨拶といたします。



※桜内義雄

It is my greatest pleasure to be able to hold the YONEX OPEN JAPAN 2001,the first in 21st century,with a number of excellent players from many countries all over the world.

This year is the 20th anniversary of this tournament.This event is globally recognised as one of the most important in terms of both rewards and scale.Since the tournament was first held in 1982,players from participating countries have been enhancing skill and ties of friendship,and have produced great drama through the games and the interchange of players and officials.

Many of the players participating in this year's OPEN have already made a big impact at the Sydney Olympics.I hope that all the players here will play an active part in demonstrating their best skills,and inspire many active badminton fans.

May I express my wish that this tournament will strengthen the ties of cooperation and global friendship among the officials and players.Finally,I would like to express my heartfelt gratitude to those who have endeavoured towards making these games a success.

The President of
the Nippon Badminton Association(NBA)
Yoshio SAKURAUCHI

呂聖栄

国際バドミントン連盟会長

ここ東京におきまして、第20回ヨネックスオープンジャパン2001に皆様をお迎えできることは、誠に光栄の限りであります。大会の開催にあたり世界バドミントン、ならびに国際バドミントン連盟を代表してご挨拶申し上げます。

この大会は、バドミントンの最高峰(五つ星)の大会として常に世界のトップ選手たちの熱戦が今大会を盛り上げてくれるものと期待しています。また、今年の5月にはスペインのセビリアでスディルマンカップならびに世界選手権が開催されます。これらの大会に出場する選手にとって、このヨネックスオープンが大会前の最後の大会になり、ランキングポイントならびにシード権を求めて熱い戦いが繰り広げられることは間違いありません。

国際バドミントン連盟の会長としての最後の年に、バドミントン世界グランプリサーキットの中でも最高峰の大会の一つに位置づけられるこのヨネックスオープンで熱戦を観戦できることは私にとっても大きな喜びであり、感慨深いものがあります。

本大会を成功させるためにご尽力いただいた財団法人日本バドミントン協会、ボランティアスタッフ及び大会運営・実行委員に深く敬意と感謝の意を表します。このような大会運営委員の方々のご尽力こそ、世界バドミントンの発展に重要な役割を果たしているものと確信しています。最後に、日本のみならず世界的にバドミントン界へ絶大なる貢献を頂いている大会のメインスポンサーのヨネックス株式会社に深く感謝申し上げ、ご挨拶といたします。



On behalf of the International Badminton Federation and the worldwide badminton community, it gives me great pleasure to welcome you all to Tokyo, the home of the YONEX OPEN JAPAN 2001.

This 5* event is a popular one amongst players and has always attracted some of the biggest stars from the badminton world. As well as offering a prize fund of $180,000, the YONEX OPEN JAPAN 2001 is the last World Grand Prix event on the calendar before the Sudirman Cup and World Championships in Seville, Spain which begin next month, so there's no question that the players here in Tokyo will be striving for those all-important ranking points which count towards the seedings for these events.

As well as being one of the most prestigious and sought-after titles on the World Grand Prix circuit, this year's YONEX OPEN JAPAN 2001 holds special significance for me, as it will be the last World Grand Prix event I will have the pleasure of witnessing as IBF President.

With this in mind I would like to take this opportunity to express my sincere thanks and gratititude for the crucial role the Nippon Badminton Association, and the YONEX OPEN JAPAN 2001, have played in the promotion of badminton worldwide.

Special thanks must go to the title sponsors, Yonex, for their much-valued support for badminton, both in Japan and on a global scale, and also to the organisers and volunteers for their efforts to ensure the YONEX OPEN JAPAN 2001 is the success I'm sure it will be.

President,
International Badminton Federation(IBF)
LU Shengrong

清水 務

東京都バドミントン協会会長

今年の日本は大変に寒い日が続いた冬でありましたがやっと暖かい日差しのスポーツの季節がやってまいりました。この最高の時期に世界各国より200余名の選手と役員をここ桜の満開な国立代々木第2体育館に迎え、ヨネックスオープンジャパン2001を開催できますことは、誠に喜ばしい限りであり代表選手のご来日を心から歓迎申し上げます。

オリンピックは、昨年シドニーで行なわれたばかりでありますが、次に開催されるオリンピックに向け世界各国の強化は激しいものとなっております。

ヨネックスオープンジャパン2001は、名実共に世界のバドミントン界の最高の大会であり、ここ東京において大勢の皆様と観戦できますことは私たち愛好者として夢のように素晴らしいことと思います。そして技術の向上はもとより、スポーツ振興にとりましても大きな感動と活力を与えてくれるものと期待しております。選手の皆様には、栄光を目指して熱戦を展開されますよう祈願してやみません。

本競技を通じて役員、選手の国際親善と交流の発展を希望し、本大会の開催に当たりご尽力いただきました関係者の皆様に心から敬意を表すとともに、この大会の益々の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



清水 務

It is a real delight to be able to hold the YONEX OPEN JAPAN 2001 with skilled players and officials from all over the world at Yoyogi National Stadium NO.2 Gymnasium during a season of fine,mild weather.

I would like to extend my heartfelt welcome to those from overseas.

Last year,the Sydney Olympics were held,and it is expected that all players will do their best to train for remarkable performances and victory at the 2004 Olympics in Athens.

This YONEX OPEN JAPAN is one of the top badminton events in the world,and it is almost like a dream that we,badminton fans,can watch it with so many people in Tokyo.

It is expected to produce a positive effect not only on the enhancement of skills but also on the promotion of sports.I wish everybody success here in Tokyo,and hope that they all perform to the best of their abilities and aim for the glory of victory.

Also,I hope this tournament strengthens the ties of global friendship and mutual exchange of both players and officials.

I would like to pay my respects to all the people who have made efforts to make this event possible and finally,to wish for the future prosperity of this event.

The President of
Tokyo Metropolitan Badminton Association
Tsutomu SHIMIZU

米山 宏作

ヨネックス株式会社 代表取締役社長

ヨネックスオープンジャパン2001が、第20回記念大会としてここ国立代々木第２体育館にて開催されます事をお慶び申し上げます。さて、昨年のシドニー五輪を含め、バドミントンはオリンピックの正式種目として３度行なわれ、世界中に広く浸透するなど、目覚しい盛り上がりを見せております。

今大会は世界屈指のバドミントンイベントとして、シドニー五輪メダリストを含む世界17カ国からエントリーがあり、誠に興味が尽きないところであります。

選手の皆様には、日ごろ鍛錬されたプレーを発揮される事を願い、また、国際親善に貢献いただくよう期待しております。

また、弊社は今後もバドミントン競技の更なる発展に向け、微力ながらより一層努力をいたす所存です。

最後に本大会開催に際し、ご尽力を賜りました国際バドミントン連盟、日本バドミントン協会、東京都バドミントン協会の皆様をはじめご協賛各社、並びに関係各位に心から敬意を表するとともに、大会の益々の成功を祈念しご挨拶とさせて戴きます。



米山宏作

It gives me great pleasure to once again say how very proud and honoured the Yonex Company is to sponsor the 20th Anniversary YONEX OPEN JAPAN, at Yoyogi National Stadium No.2.

Last year, badminton was an official event at the Olympic Games for the third time and the sport, one which Yonex is continuously striving to promote, has shown remarkable expansion and continues to do so all over the world.

With this in mind, we are very lucky to be able to see a fantastic line up of some of the best, most exciting players in the world, including the Sydney Olympics medallists, from 17 countries.

I wish all the players every success here in Tokyo, and hope they all perform, in the best spirits of sportsmanship, to the best of their abilities.

Finally I would like to express my sincere thanks and appreciation to the International Badminton Federation, the Japan Badminton Association, the Tokyo Metropolitan Badminton Association and all those who have committed their wholehearted support to this exciting event.

President, Yonex Co. Ltd.
Kosaku YONEYAMA

ごあいさつ

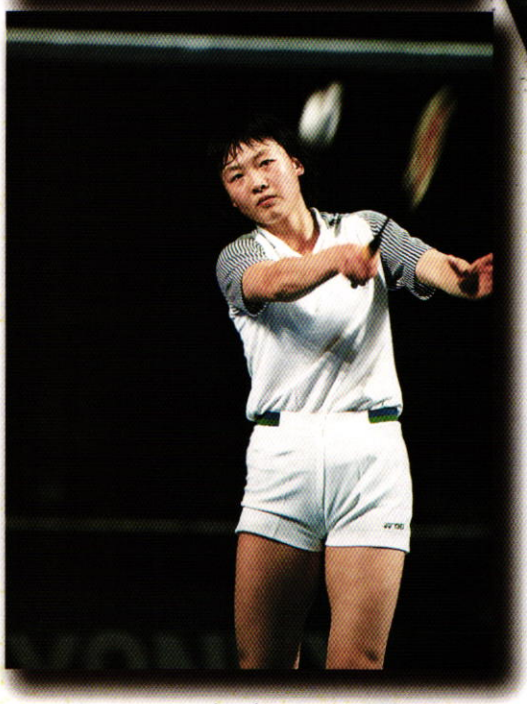
ヒーローたち

今年で第20回目の開催を迎えたヨネックスオープンジャパン。第1回は、日本で初めての賞金付き大会として兵庫県西宮市と神戸市で行なわれ、14カ国から60数名の選手が参加した。以来、世界のトップ選手が目標にするビッグトーナメントに定着し、いまや20カ国から240名を超える選手がエントリーする。当初4日間だった会期は6日に延長され、賞金総額は1000万円から18万ドルへ。年々規模を拡大するヨネックスオープンジャパンは、数々のスターを生み出し続けている。第1回から出場し、90年に決勝進出を果たした日本の陣内貴美子さんの案内で、20世紀最後の20年間を彩った大会のヒーローとヒロインをご紹介しよう。











→80年代前半をリードしたのはイングランドをはじめとするヨーロッパ勢。女子ダブルスはベリー（右）／ウェブスターが第1回大会で優勝した
↓第1回大会で男子シングルスを制したのはスウェーデンのトーマス・キールストローム。本来はダブルスプレーヤーながら、堅いディフェンスと巧みなネットプレーで頂点に達した。83年には男子複と混合複でも優勝し、3種目制覇という離れ業をやってのけた

→80年代にヨーロッパの英雄としてその名を残したデンマークのモルテン・フロスト。84年にはインドネシアのリム・スイ・キンを下し大会初優勝を飾った。機械のような正確なストロークで、90年にも31歳で頂点に
80年代に李玲蔚と世界一の座を争った中国・韓愛平。今大会では83年と88年に優勝している
←中国女子シングルスのスター、李玲蔚がトーナメント初優勝を遂げたのが、大会第1回。変化に富んだショットを見せた18歳は、翌年世界王者に輝いた。以後88年までに日本では計4回の冠をつかんだ

ヨネックスオープンジャパンをご観戦のみなさま、こんにちは。陣内貴美子です。私はこの大会に第1回の82年から92年まで11回出場し、引退後も、毎年会場に足を運んでいます。今年は20周年記念ということで、たくさんの名選手、名場面を生んだヨネックスオープンジャパンを振り返ってみたいと思います。

20年の歴史の中で、どの国が強く、プレーがどんな色合いになるのか、それは年代によって違ってきます。まず80年代前半に強さが目立つのはイギリス。85年から韓国と中国が出てきて、90年代に入ると、それまでコンスタントに活躍していたインドネシアの存在が際立ちます。そしてこの3、4年はデンマークが頑張るようになってきました。このように、覇権の流れというものが必ずあるのです。いいかえれば世界の流れ。それがそのまま、ヨネックスオープンジャパンの結果に反映されています。

80年代初めというのは、ダブルスでイギリスに勢いがあり、シングルスはそのほかスウェーデンなどを含めたヨーロッパ、そして中国が強い時期でした。いまはアジアのほうがヨーロッパを押していますが、当時はどの種目も対等に強く、いかにつぶすかという時代。本当におもしろかったです。

私が対戦して一番強いと思ったのは、シングルスなら中国の李玲蔚。頭がよくて、同じフォームからいろんなショットを打てました。きれいでスマートなプレーをしていたと思います。同じ中国でも、精神的な強さでいうなら、韓愛平が凄かった。「絶対負けない」という気迫を感じました。

90年代に頂点に立つインドネシアのスシ・スサンティも印象的です。しぶとかったし、表情が変わらなかった。どんなに長いラリーをしていても、息を切らしているのを見たことがありません。スタミナが違いました。ほかの人にはなかなか真似ができないでしょう。

女子ダブルスでは、韓国の鄭素英／黄恵英と戦うと、すごく疲れたのを覚えています。我慢強い。これは韓国全般のプレースタイルといえるでしょう。

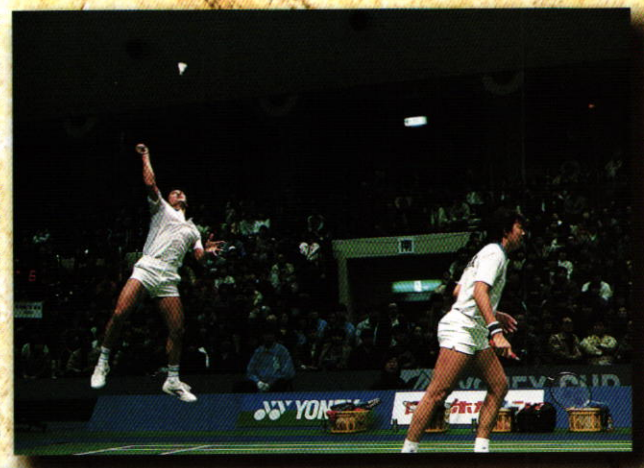
バドミントンのおもしろさの一つは、同じコートに立って、身長の高い人が必ずしも勝つわけではないことだと思いますが、それを示したのが90年代に登場したスサンティ、そして男子シングルスのアーディ・ウィラナタ（インドネシア）です。小柄であってもフットワークさえきちんとしていれば勝てる。アジア勢が実証してくれたわけです。

ヨネックスオープンジャパンは年度が変わって初めての、グレードの高い大会なので、出場を希望する選手はたくさんいます。伝統を

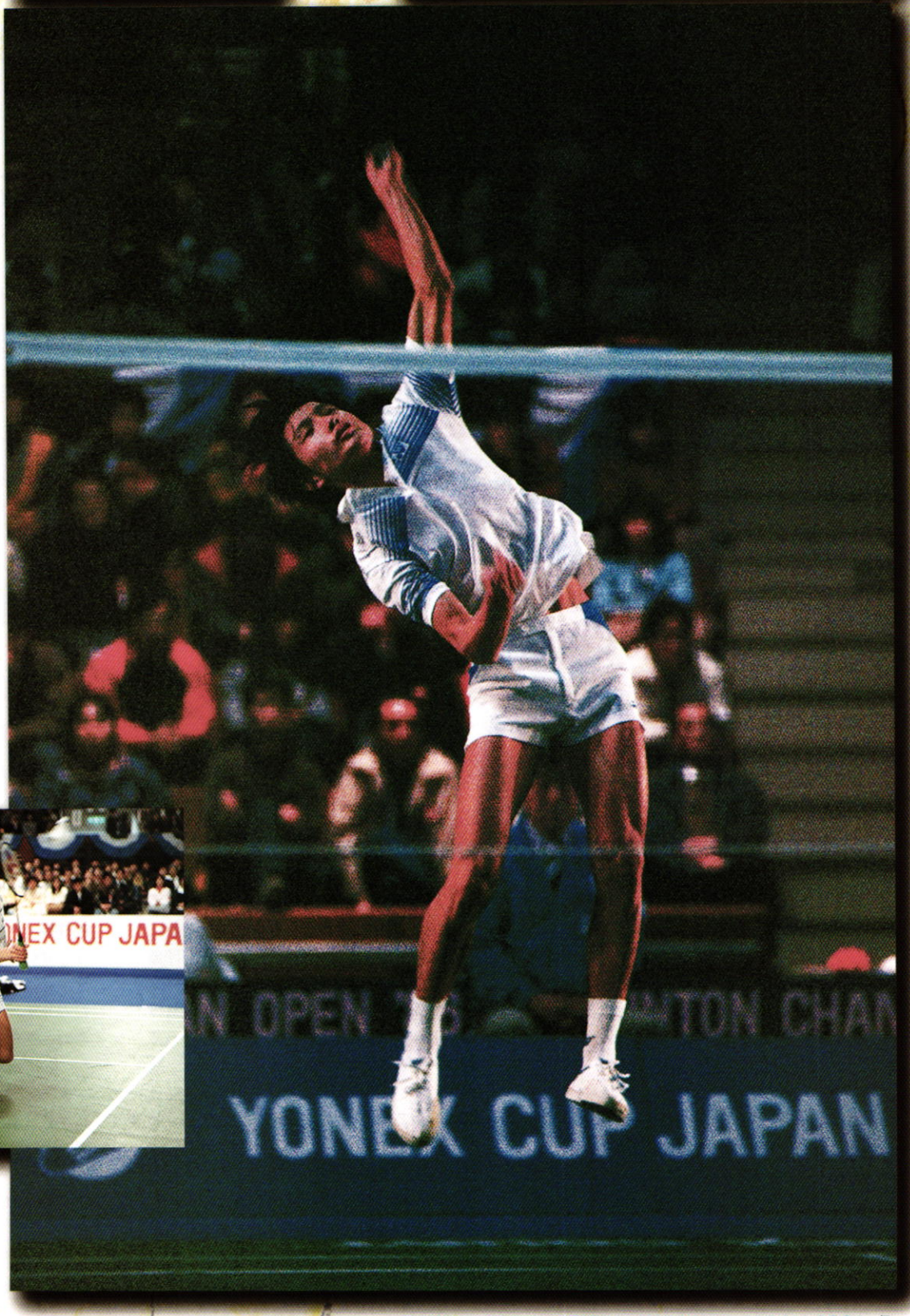
ヨネックスオープンジャパン20周年特別企画

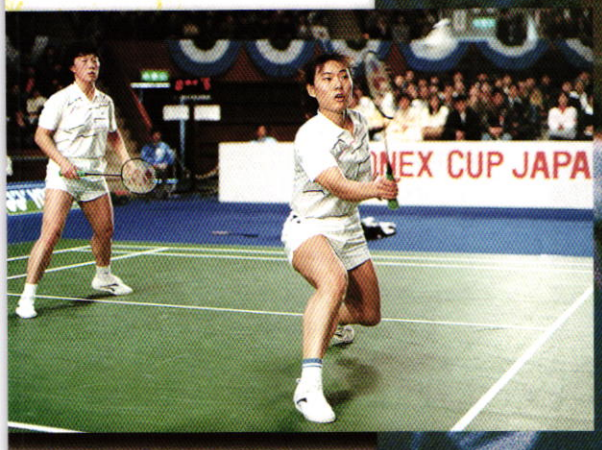
歴史を刻んだ



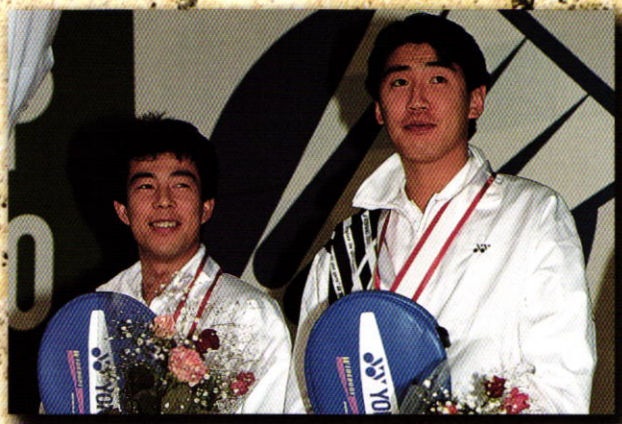


↓ジャンピングスマッシュで観客を沸かせたのはインドネシアのリム・スイ・キン(左)。この大会ではダブルスに転向した87年に、エディ・ハルトノと組んで王者獲得
←85年以降、猛威を振るうのはアジアのダブルス勢。とくに韓国・朴柱奉(左)／金文秀は3回優勝し、「ダブルスはヨーロッパ」の定説を崩した。朴は混合複でも5回王座に





↑80年代後半からの韓国の躍進は、女子ダブルスでも顕著に。88年に鄭素英(左)と組んで優勝した鄭明熙は、混合複では5連覇も達成。しぶといプレーは現在の韓国ダブルスに受け継がれている
→80年代から国際舞台に登場した中国は、女子シングルスのみならず、男子シングルスでも次々トップに駆け登る。韓健、趙剣華、楊陽(写真)、熊国宝。楊陽はフェイントのきいたスマッシュを繰り出し86年と89年に優勝した

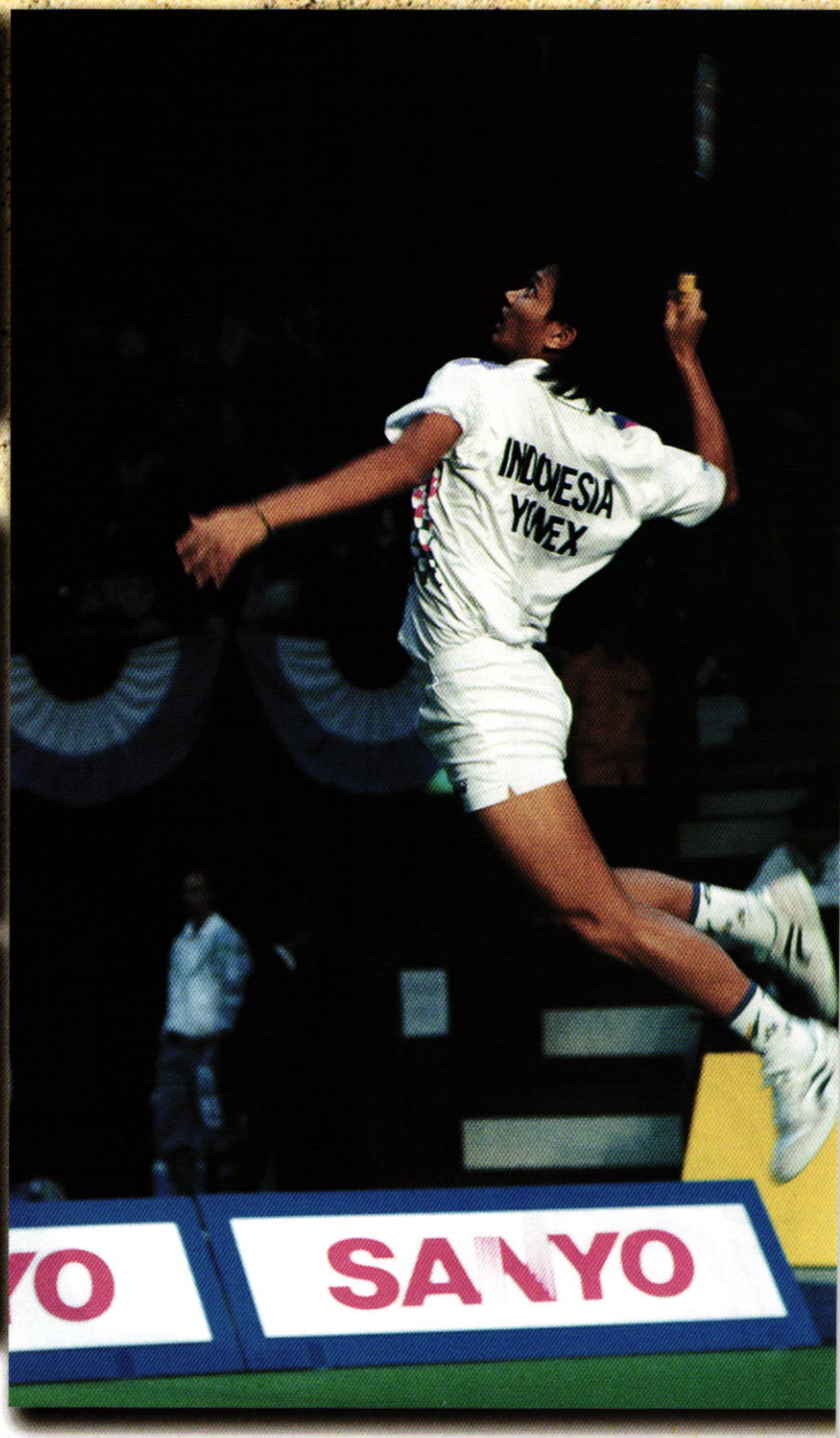


↑日本男子が誇るダブルスはご存じ松野（左）／松浦。87年に続き90年でも3位に入り実顔を見せた。鉄壁のレシーブ力で韓国、中国、マレーシアとも互角に張り合った。
↓女子ダブルスで日本に初めて準優勝をもたらしたのは90年の陣内（右）／森。「満員のお客さんの前で、普段できないようなプレーもできました」（陣内）





↑90年代に入るとインドネシアの時代に。男子シングルスはアーディ・ウィラナタが91、92、94年にタイトルを獲得。小柄ながら強靭なスタミナと精神力、アクロバチックなプレーでファンを魅了した



誇る全英オープンに出たいと思うように、世界の選手たちすべてが、この大会に出たがるのです。ここで存在をアピールし、つぎの大会のシード権を取りたいという気持ちで、他のトーナメント以上に頑張るのだと思います。

とくにオリンピックが終わったあとは、各国が新旧交代を迎えるので、新星が現れます。そこにもおもしろさがあります。たとえば、92年のバルセロナ後にはインドネシアのハリアント・アルビが頂点に駆け上がり、以降世界のトップに立ちました。96年のアトランタ後にはデンマークのピーター・ラスムセンが躍り出て、その年に世界王者になっています。ヨネックスオープンジャパンは、五輪の翌年に新しい顔が出てくるという、今後を占う重要な大会だというわけです。シドニー五輪の翌年にあたる今年も目が離せないと思います。

もちろん、日本で行なう大会ですから、地元・日本選手の活躍も期待できます。応援してくれるファンがたくさんいますから、選手としては集中力が増すのです。ほかの試合ではあきらめる球も取ってしまうし、強い選手と当たっても、下手な試合はできないと思う。

私自身は90年に決勝まで行ったことが印象に残っています。日本では第1回に東海林文子選手がやはり決勝に行きましたが、最終日まで残っていられるというのは選手にとっても日本の観客にとっても大きなことでしょう。選手として一番希望するのは、観客が最終日まで満員でいてくれることです。観客としては、海外トップ選手のプレーも見たいけれど、日本選手の頑張りも見たいわけです。それが木曜や金曜に終われば興味が半減してしまう。90年は連日お客さんが大勢入り、本当にうれしかったのを覚えています。

男子で決勝に進出した日本選手はいませんが、ベスト4はいます。私が凄いなと思っていたのは、松野修二／松浦進二のダブルスでした。87年と90年に3位に入り、当時の世界4強の一角を担っていました。つまり韓国の朴柱奉／金文秀、中国の田秉毅／李永波、そしてマレーシアのラジフ&ジャラニ・シデク兄弟という蒼々たるメンバーがライバルだったのです。松野／松浦は18歳でペアを組み、若いときから鍛えていたので、体が違いました。レシーブ力が鉄壁で、しぶとかったです。

また、凄いといえば朴／金のプレーは忘れられません。朴柱奉のラケットにシャトルが吸い込まれていくのです。朴は読みが鋭かったし、バドミントンをよく知っていました。体は細いのに、第1回から参加して、最後はアトランタ五輪前にミックスで復活もして、息の長い選手でもありました。ラケットワークが器用なのでレシーブはもちろん、スマッ



↑女子シングルスで第1回から10年間続いた中国の時代に終止符を打ったのはインドネシアのスシ・スサンティ。顔色を変えずに正確なストロークを繰り出し、92、94、95年に優勝を飾った。バルセロナ五輪金メダリスト
←93年にリム・スイ・キンをほうふつとさせるジャンピングスマッシュで初優勝を飾ったのがインドネシアのハリアント・アルビ。95年には世界王者に輝いた
↓スサンティを脅かす存在として93年に19歳で女王となったのは中国・葉釧顰。アトランタ五輪金メダリストの韓国・方銖賢を含め「3強」時代を担った。葉の決勝進出は歴代最高の7回





↑スピードあふれるダブルスならインドネシア。クールなリッキー・スバグジャ（右）と闘志あふれるレキシー・マイナキーは95年から3連覇を飾り、その間に五輪金メダルをはじめ、すべてのビッグタイトルを手にしている
←90年代後半は女子ダブルスでも中国がトップに。スピード、パワーとも男子並みの葛菲（右）／顧俊は95年の初優勝を含め4度栄冠を獲得。史上初の五輪連覇を果たし引退した





↑97年以降は猛烈デンマークが浮上。男子シングルスでは97年にピーター・ラスムセン、98、99年にピーター・ゲード・クリステンセン（写真）が頂点に

歴代ヒーローからのメッセージ

韓愛平（中国）「ヨネックスオープンジャパンは私のバドミントン人生で重要な意味を持っています。私が病気で国際大会から引退し、2年後に初めて出場したのが83年の大会。優勝したことで、国際バドミントン界及び中国ナショナルチームでのポジションを新たに得ることができました。毎年年始に行なわれ、当時数少ない高レベルの国際大会だったので、ここで勝つことが私たちには重要でした。この結果次第で、他の国際大会に出られるかどうか変わってくるからです。私は90年の引退後、日本で4年間コーチをして95年にはオーストラリアでバドミントンスクールを創りました。現役時代に接した日本のファンはほとんどが女性で、とても上品で穏やかだった印象があります」（83&88年女子シングルス優勝）

チー・スーンキット（マレーシア）「この大会はグランプリファイナルのように、選ばれた者のトーナメントとして位置づけています。マレーシア選手の誰もがです。出場する選手のレベルは世界最高峰の大会だし、観客のみなさんが暖かい声援を送ってくれるところも、選手にとって感動する点です。日本ではよくサインを求められますが、私のプレーを観て感動して色紙を差し出してくれるのは、選手冥利に尽きます。暖かい声援に感謝したいです。ぼくはいま、マレーシアのナショナルチームで女子ダブルスのコーチをしています。今度は指導者として選手を強くして、また日本のみなさんとお会いしたいと思います」（98年男子ダブルス優勝。パートナーはヤップ・キムホック）

熊智超（中国）「ヨネックスオープンジャパンで一番の思い出は、2000年に優勝し自信になったことです。この大会はグレードが高いので、いい成績を残すことが私のバドミントン人生の励みになりました。練習で生まれた私の技術と意志で対戦相手を破ったときには、より感動が大きいです。大切だと思う大会は、ヨネックスオープンジャパン、オリンピック、ユーバー杯、ヨネックス全英オープン、グランプリファイナル。今年は世界選手権に勝ちたいです。昨年は全英、ジャパンで勝てた自信が、シドニー五輪での優勝につながりました。現在の生活はバドミントンが仕事ということになりますが、中国のお酒のメーカーのイメージキャラクターにもなっています」（98&2000年女子シングルス優勝）

チャンドラ・ウィジャヤ（インドネシア）「ぼくの国ではヨネックスオープンジャパンはアジアの全英選手権といわれていて、非常に格調高い大会だと思います。ほかの国際大会と比べて、観客のみなさんのマナーがよく、国籍は問わずに、対戦する両者に対して暖かい声援を送ってくれるところが、とくにすばらしいですね。またぼくが感動したのは、試合の進行からバス手配に至るまで、大会運営が完成されていて、安心して試合に集中できることです。思い出に残る試合は99年の準決勝、韓国の河泰権／全東文に敗れたのですが、とても悔しかった。ぼくはこの1月に結婚しましたが、結婚で力が落ちたといわれないように練習を続けます」（2000年男子ダブルス優勝。パートナーはトニー・グナワン）

ヨネックスオープンジャパン国別優勝回数

（1982年～2000年）

	MS	LS	MD	LD	MX	計
中国	6	15	3	8	3	35
韓国	0	0	5	6	7	18
インドネシア	6	4	7	0	0	17
イングランド	1	0	0	5	5	11
デンマーク	5	0	0	0	4	9
スウェーデン	1	0	2	0	3	6
スコットランド	0	0	0	0	2	2
マレーシア	0	0	2	0	0	2

シュも切れていたし速かった。みんなに見せてあげたかったです。あれこそ「神様」のプレーだと思いました。

男子のダブルスは、身長の高い2人がテクニックを駆使して勝つというイギリスのスタイルに対し、パワー、スピードで勝つのがインドネシアなどのアジアという傾向がありましたが、それをオールラウンドにしたのが朴／金だったといえるでしょう。いまはその後輩である韓国、そしてよりスピードを重視しているチャンドラ・ウィジャヤ、トニー・グナワンなどのインドネシア勢が世界の主役となっています。

一方女子ダブルスは最近、中国が韓国を上回る勢いです。以前はミスが多くてあきらめが早かったのですが、いまではミスが減り、男子のように力強くスピードもあります。最近では葛菲／顧俊がずば抜けていました。

男子シングルスで現在世界ランク1位のピーター・ゲード・クリステンセンは、同じデンマークの先輩、モルテン・フロストに似ています。決して派手ではないのですが、攻守に穴がない。フロストよりも攻撃ができ、もっと器用かもしれません。ヨーロッパの選手はあきらめがちという印象が以前はありましたが、それはまったくありません。

男子シングルスはずっと一人の選手がチャンピオンであり続けるのは難しい。女子はいったん上位に顔を出すと、長いこと時代を築けるのですが、男子は誰が勝つかわからない状況で出場し、そのときに体調のいいほうが勝つということも多いようです。

20年間を駆け足で振り返ってみましたが、時代によって、さまざまな国から多くの個性的な選手が誕生していることが、あらためて感じられます。時間の流れとともに、プレーのスタイルも変わっていくのです。

いよいよ21世紀、最初の歴史が始まります。きっとまた新たなスターが飛び出すでしょう。久しぶりに、日本選手の快進撃にも期待していますが、とくに女子シングルスの米倉加奈子は、今回頑張ると思います。オリンピックで自分のプレーができず、悔しい思いをしていますし、一度アジア大会で優勝し、もう一度勝ちたいと思っているはず。世界で勝ちたいという気持ちが大きくなったのではないでしょうか。簡単には勝てないのがこの世界です。だからこそ、上位に上がれたら凄いことだと思います。ぜひ彼女に、新しい時代をつくっていってもらいたいと願っています。

じんない・きみこ●16歳でナショナルチームに入り日本女子のエースに。90年ヨネックスオープンジャパン複2位、91年台湾オープン複優勝、全英オープン複2位。92年バルセロナ五輪を最後に引退し、現在はスポーツキャスター、タレントとして活躍中。ヨネックス所属。

サンコーヘルシークラブ
SANKO HEALTHY CLUB
Fine Natural Foods Sanko Special Selection

私達は、確かな信頼と実績であなたに「健康」を贈ります。

全国500以上の専門医療機関で使用され、その実績が認められたダイエットフード。

医療機関の確かな実績。



モディファースト®

バニラ味・チョコレート味・メロン味・コーンスープ味

希望小売価格 ◎各味10袋／9,500円 ◎スターターキット／3,500円（消費税別）

販売元：ディックライフテック株式会社

内科医 **金城 瑞樹** 先生

横浜市ベイサイドクリニック副院長 TEL 045-312-1151

小田原市林病院 糖尿病・高血圧症・肥満専門外来兼務 TEL 0465-47-3101

横浜市立大学医学部・大学院卒業後、同附属浦舟病院において異例の早さで糖尿病専門外来を担当。NHK「ためしてガッテン」の監修をはじめ、講演等でも活躍。信条は、患者さんに「この病院に来て良かった」と思ってもらえる医療を目指すこと。

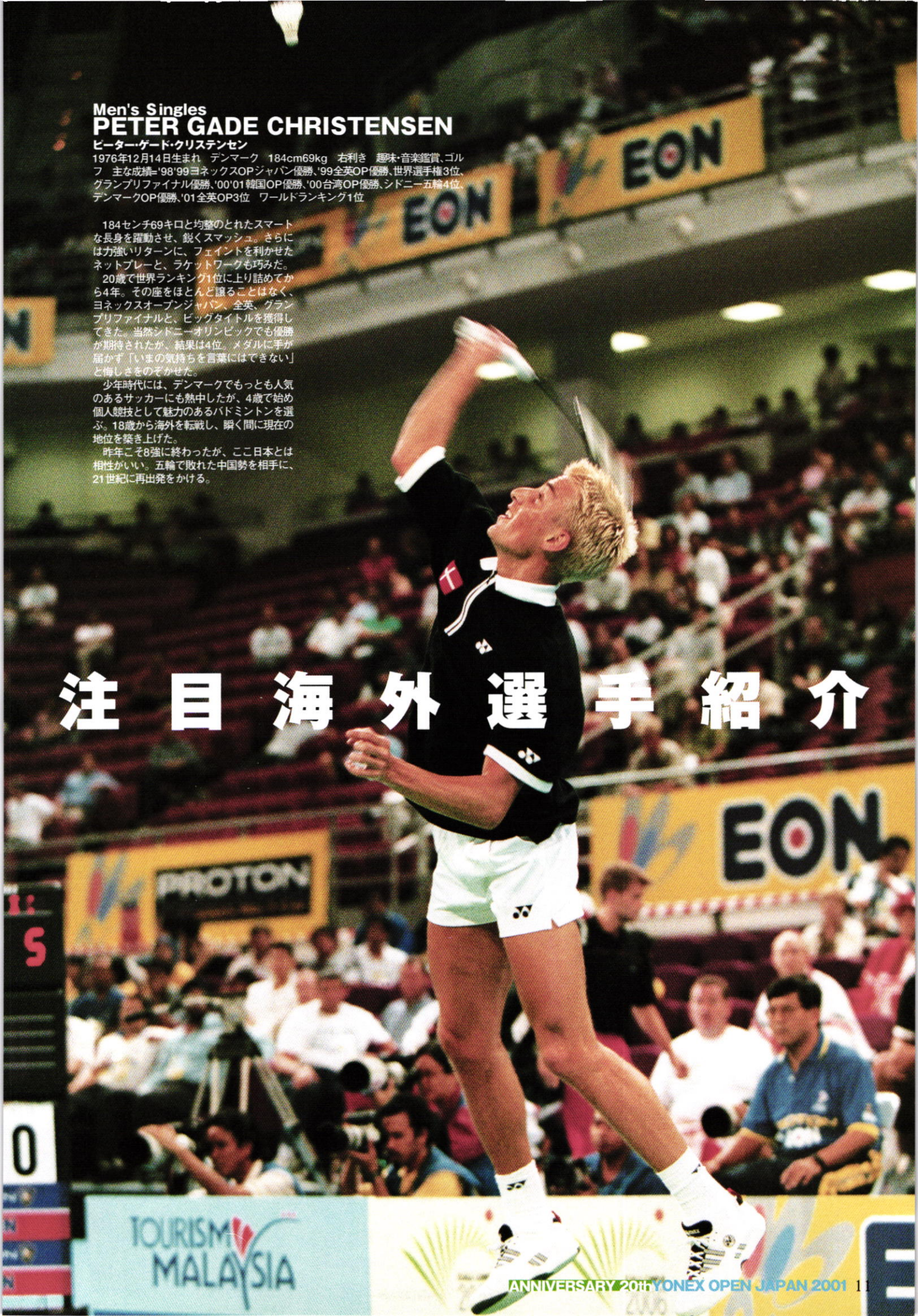


【主な使用大学病院】

北海道大学医学部	山形大学医学部	帝京大学医学部	東京女子医科大学	順天堂大学医学部	名古屋大学医学部	神戸大学医学部	九州大学医学部
旭川医科大学	群馬大学医学部	東京医科大学	東邦大学医学部	横浜市立大学医学部	藤田保健衛生大学医学部	鳥取大学医学部	久留米大学医学部
札幌医科大学	埼玉医科大学	日本医科大学	日本大学医学部	聖マリアンナ医科大学	滋賀医科大学	島根医科大学	大分医科大学
弘前大学医学部	千葉大学医学部	東京大学医学部	東海大学医学部	富山医科薬科大学	京都大学医学部	広島大学医学部	宮崎医科大学
岩手医科大学	獨協医科大学	慶応義塾大学医学部	東京慈恵会医科大学	福井医科大学	京都府立医科大学	徳島大学医学部	
東北大学医学部	自治医科大学	東京医科歯科大学医学部	杏林大学医学部	浜松医科大学	大阪市立大学医学部	高知医科大学	

株式会社サンコー

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11番4-2101号 TEL.06-6345-4860



Men's Singles

PETER GADE CHRISTENSEN

ピーター・ゲード・クリステンセン

1976年12月14日生まれ　デンマーク　184cm69kg　右利き　趣味・音楽鑑賞、ゴルフ　主な成績='98'99ヨネックスOPジャパン優勝、'99全英OP優勝、世界選手権3位、グランプリファイナル優勝、'00'01韓国OP優勝、'00台湾OP優勝、シドニー五輪4位、デンマークOP優勝、'01全英OP3位　ワールドランキング1位

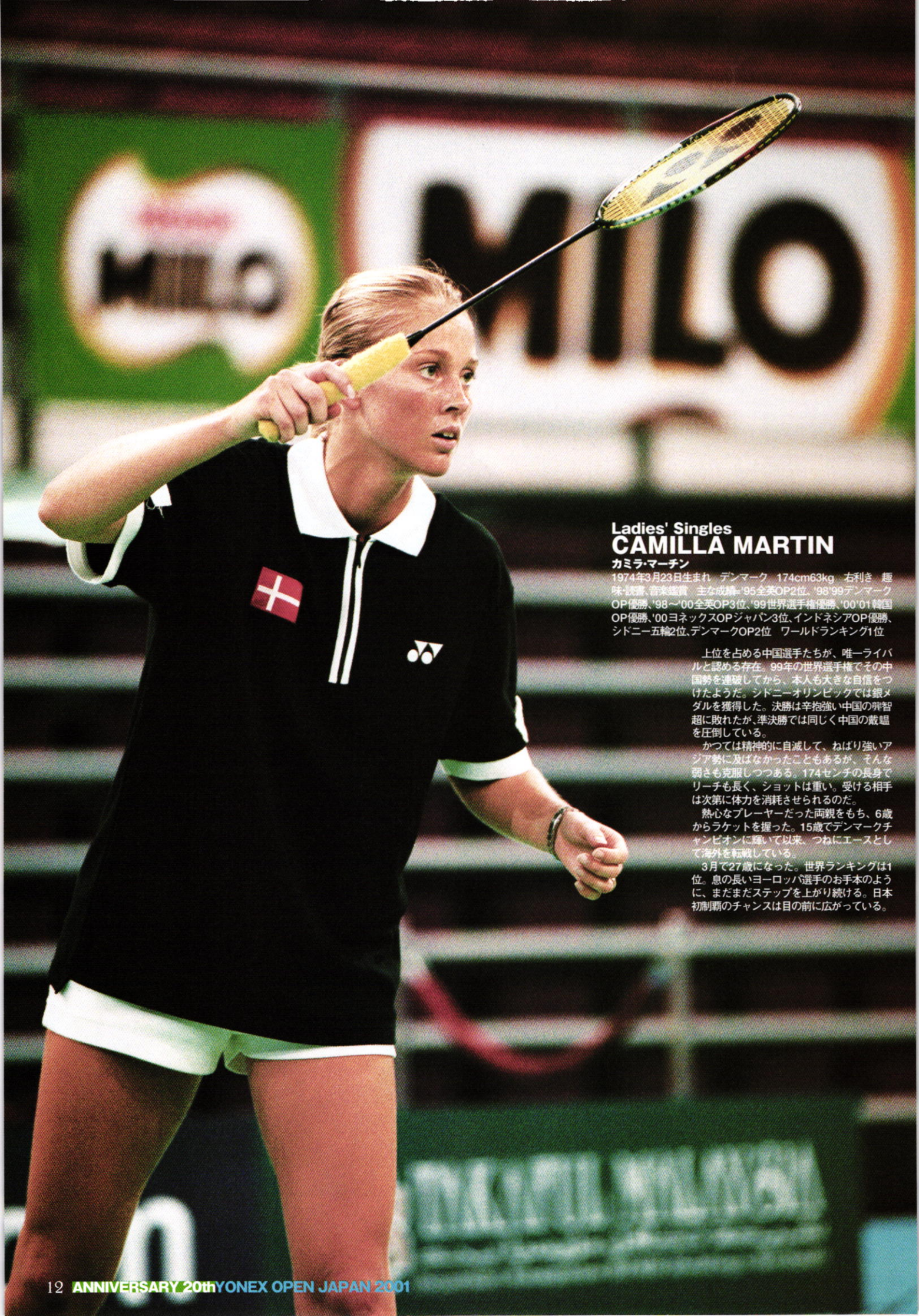
184センチ69キロと均整のとれたスマートな長身を躍動させ、鋭くスマッシュ。さらには力強いリターンに、フェイントを利かせたネットプレーと、ラケットワークも巧みだ。

20歳で世界ランキング1位に上り詰めてから4年。その座をほとんど譲ることはなく、ヨネックスオープンジャパン、全英、グランプリファイナルと、ビッグタイトルを獲得してきた。当然シドニーオリンピックでも優勝が期待されたが、結果は4位。メダルに手が届かず「いまの気持ちを言葉にはできない」と悔しさをのぞかせた。

少年時代には、デンマークでもっとも人気のあるサッカーにも熱中したが、4歳で始め個人競技として魅力のあるバドミントンを選ぶ。18歳から海外を転戦し、瞬く間に現在の地位を築き上げた。

昨年こそ8強に終わったが、ここ日本とは相性がいい。五輪で敗れた中国勢を相手に、21世紀に再出発をかける。

注目海外選手紹介



Ladies' Singles

CAMILLA MARTIN

カミラ・マーチン

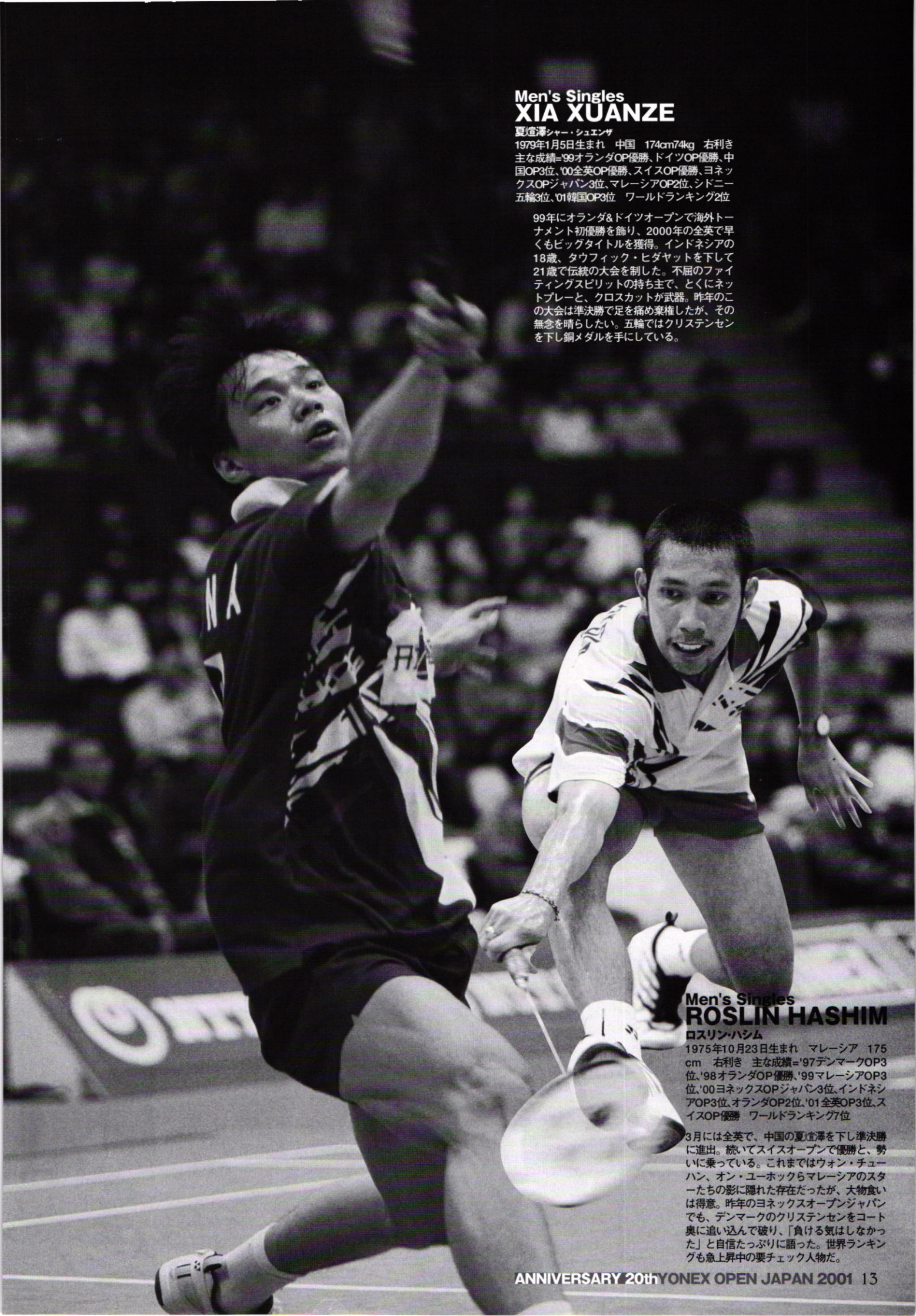
1974年3月23日生まれ　デンマーク　174cm63kg　右利き　趣味・読書、音楽鑑賞　主な成績＝'95全英OP2位、'98'99デンマークOP優勝、'98〜'00全英OP3位、'99世界選手権優勝、'00'01韓国OP優勝、'00ヨネックスOPジャパン3位、インドネシアOP優勝、シドニー五輪2位、デンマークOP2位　ワールドランキング1位

上位を占める中国選手たちが、唯一ライバルと認める存在。99年の世界選手権でその中国勢を連破してから、本人も大きな自信をつけたようだ。シドニーオリンピックでは銀メダルを獲得した。決勝は辛抱強い中国の張智超に敗れたが、準決勝では同じく中国の戴韞を圧倒している。

かつては精神的に自滅して、ねばり強いアジア勢に及ばなかったこともあるが、そんな弱さも克服しつつある。174センチの長身でリーチも長く、ショットは重い。受ける相手は次第に体力を消耗させられるのだ。

熱心なプレーヤーだった両親をもち、6歳からラケットを握った。15歳でデンマークチャンピオンに輝いて以来、つねにエースとして海外を転戦している。

3月で27歳になった。世界ランキングは1位。息の長いヨーロッパ選手のお手本のように、まだまだステップを上がり続ける。日本初制覇のチャンスは目の前に広がっている。



Men's Singles
XIA XUANZE
夏煊澤シャー・シュエンザ

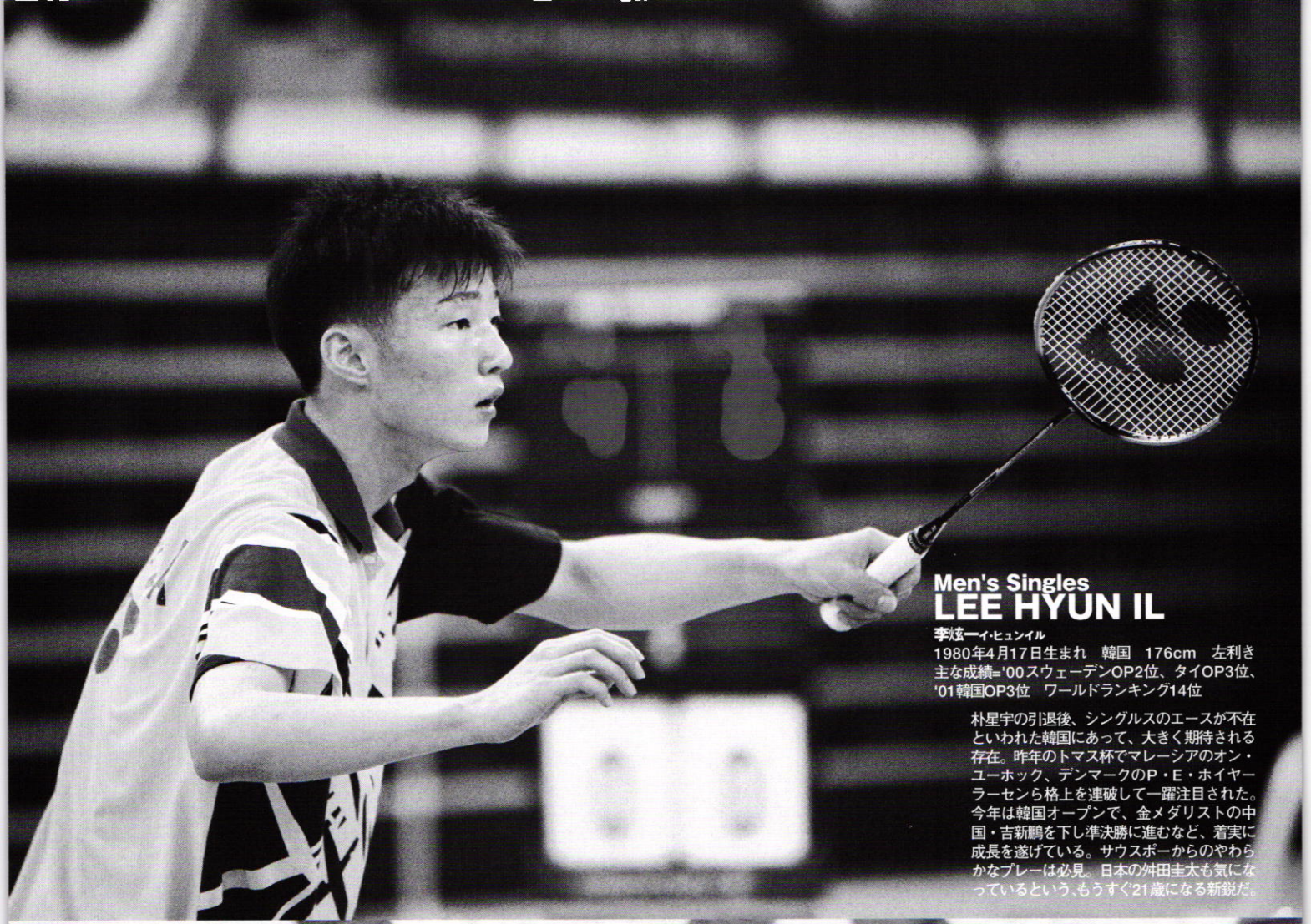
1979年1月5日生まれ　中国　174cm74kg　右利き
主な成績='99オランダOP優勝、ドイツOP優勝、中国OP3位、'00全英OP優勝、スイスOP優勝、ヨネックスOPジャパン3位、マレーシアOP2位、シドニー五輪3位、'01韓国OP3位　ワールドランキング2位

99年にオランダ&ドイツオープンで海外トーナメント初優勝を飾り、2000年の全英で早くもビッグタイトルを獲得。インドネシアの18歳、タウフィック・ヒダヤットを下して21歳で伝統の大会を制した。不屈のファイティングスピリットの持ち主で、とくにネットプレーと、クロスカットが武器。昨年のこの大会は準決勝で足を痛め棄権したが、その無念を晴らしたい。五輪ではクリステンセンを下し銅メダルを手にしている。

Men's Singles
ROSLIN HASHIM
ロスリン・ハシム

1975年10月23日生まれ　マレーシア　175cm　右利き　主な成績='97デンマークOP3位、'98オランダOP優勝、'99マレーシアOP3位、'00ヨネックスOPジャパン3位、インドネシアOP3位、オランダOP2位、'01全英OP3位、スイスOP優勝　ワールドランキング7位

3月には全英で、中国の夏煊澤を下し準決勝に進出。続いてスイスオープンで優勝と、勢いに乗っている。これまではウォン・チューハン、オン・ユーホックらマレーシアのスターたちの影に隠れた存在だったが、大物食いは得意。昨年のヨネックスオープンジャパンでも、デンマークのクリステンセンをコート奥に追い込んで破り、「負ける気はしなかった」と自信たっぷりに語った。世界ランキングも急上昇中の要チェック人物だ。

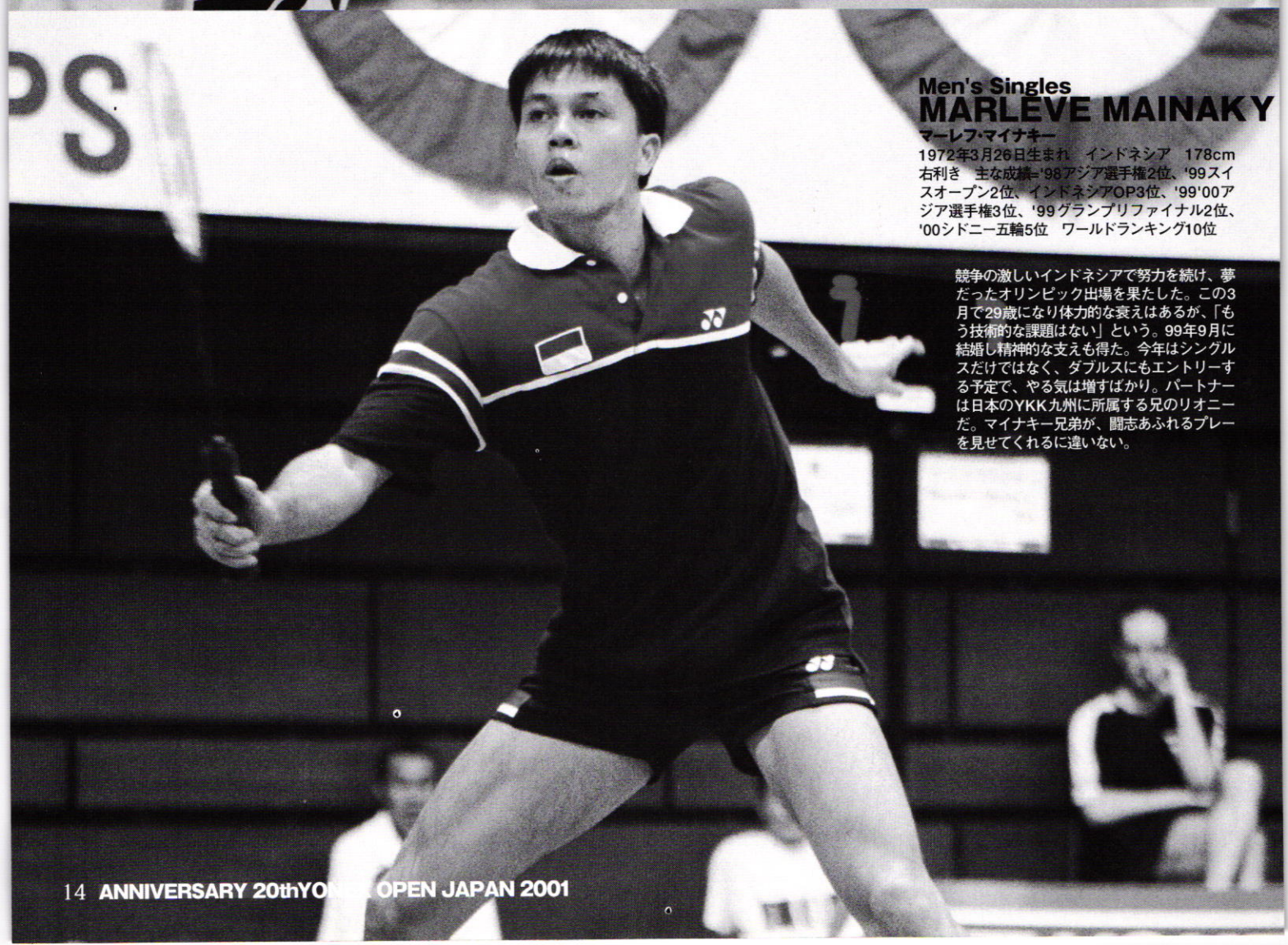


Men's Singles
LEE HYUN IL

李炫一イ・ヒュンイル

1980年4月17日生まれ　韓国　176cm　左利き
主な成績='00スウェーデンOP2位、タイOP3位、'01韓国OP3位　ワールドランキング14位

朴星宇の引退後、シングルスのエースが不在といわれた韓国にあって、大きく期待される存在。昨年のトマス杯でマレーシアのオン・ユーホック、デンマークのP・E・ホイヤーラーセンら格上を連破して一躍注目された。今年は韓国オープンで、金メダリストの中国・吉新鵬を下し準決勝に進むなど、着実に成長を遂げている。サウスポーからのやわらかなプレーは必見。日本の舛田圭太も気になっているという、もうすぐ21歳になる新鋭だ。

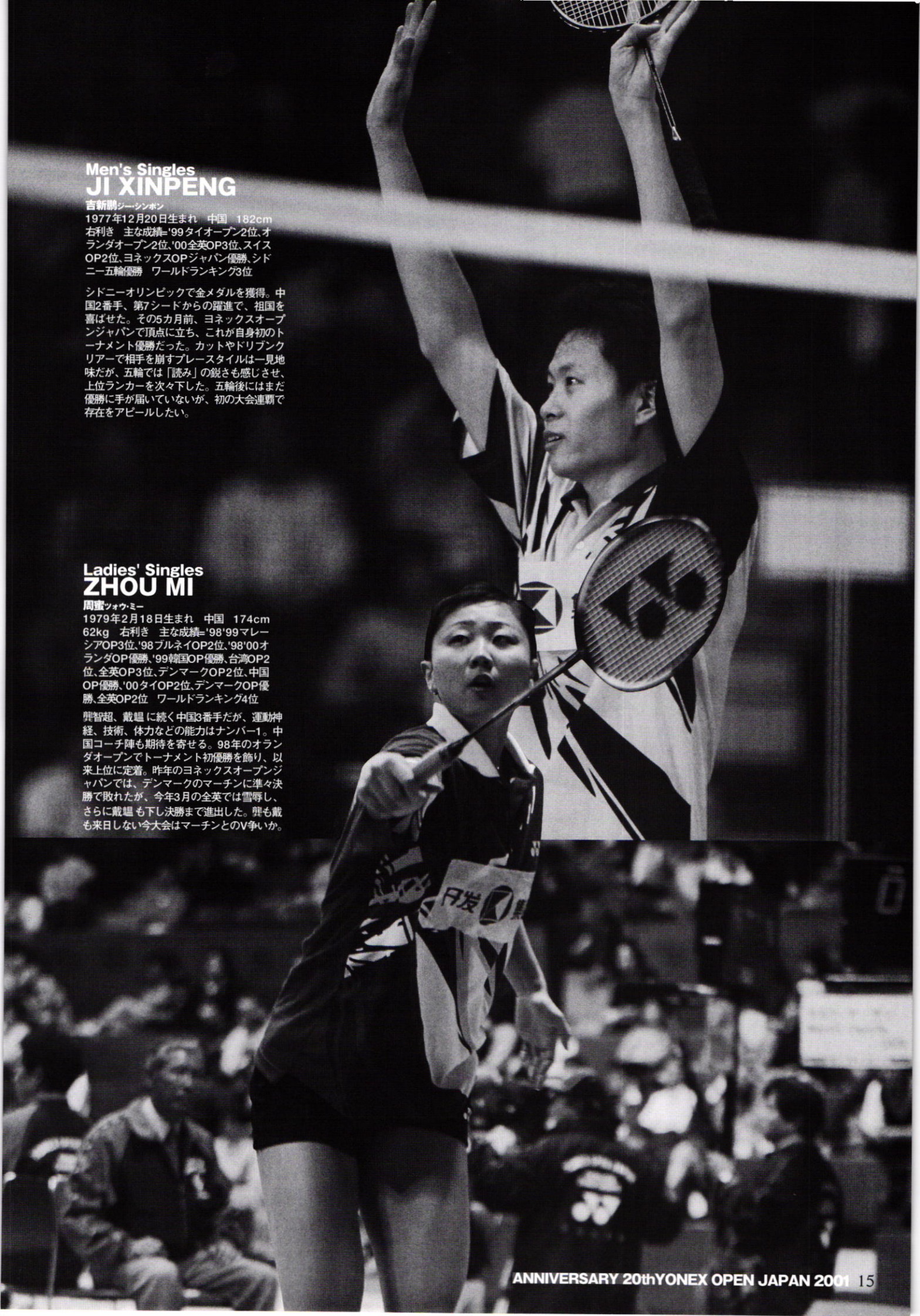


Men's Singles
MARLEVE MAINAKY

マーレフ・マイナキー

1972年3月26日生まれ　インドネシア　178cm　右利き　主な成績='98アジア選手権2位、'99スイスオープン2位、インドネシアOP3位、'99'00アジア選手権3位、'99グランプリファイナル2位、'00シドニー五輪5位　ワールドランキング10位

競争の激しいインドネシアで努力を続け、夢だったオリンピック出場を果たした。この3月で29歳になり体力的な衰えはあるが、「もう技術的な課題はない」という。99年9月に結婚し精神的な支えも得た。今年はシングルスだけではなく、ダブルスにもエントリーする予定で、やる気は増すばかり。パートナーは日本のYKK九州に所属する兄のリオニーだ。マイナキー兄弟が、闘志あふれるプレーを見せてくれるに違いない。



Men's Singles
JI XINPENG

吉新鵬ジー・シンポン

1977年12月20日生まれ　中国　182cm　右利き　主な成績='99タイオープン2位、オランダオープン2位、'00全英OP3位、スイスOP2位、ヨネックスOPジャパン優勝、シドニー五輪優勝　ワールドランキング3位

シドニーオリンピックで金メダルを獲得。中国2番手、第7シードからの躍進で、祖国を喜ばせた。その5カ月前、ヨネックスオープンジャパンで頂点に立ち、これが自身初のトーナメント優勝だった。カットやドリブンクリアーで相手を崩すプレースタイルは一見地味だが、五輪では「読み」の鋭さも感じさせ、上位ランカーを次々下した。五輪後にはまだ優勝に手が届いていないが、初の大会連覇で存在をアピールしたい。

Ladies' Singles
ZHOU MI

周蜜ツォウ・ミー

1979年2月18日生まれ　中国　174cm　62kg　右利き　主な成績='98'99マレーシアOP3位、'98ブルネイOP2位、'98'00オランダOP優勝、'99韓国OP優勝、台湾OP2位、全英OP3位、デンマークOP2位、中国OP優勝、'00タイOP2位、デンマークOP優勝、全英OP2位　ワールドランキング4位

龔智超、戴韞に続く中国3番手だが、運動神経、技術、体力などの能力はナンバー1。中国コーチ陣も期待を寄せる。98年のオランダオープンでトーナメント初優勝を飾り、以来上位に定着。昨年のヨネックスオープンジャパンでは、デンマークのマーチンに準々決勝で敗れたが、今年3月の全英では雪辱し、さらに戴韞も下し決勝まで進出した。龔も戴も来日しない今大会はマーチンとのV争いか。

ともに21歳の97年、世界選手権を制覇した。その後シギットがドーピングにより1年間の出場停止処分を受け、チャンドラはトニー・グナワンと組んで転戦。昨年は日本で優勝し、シドニーオリンピックで金メダルをつかんだ。五輪後、チャンドラは再びシギットとともに頂点をねらう。前衛のスペシャリスト、シギットとのダブルスは、スピードがあり目を離せない。3月の全英で決勝を争ったトニー／ハリム、そして韓国、デンマークがライバルだ。



Men's Doubles

CANDRA WIJAYA

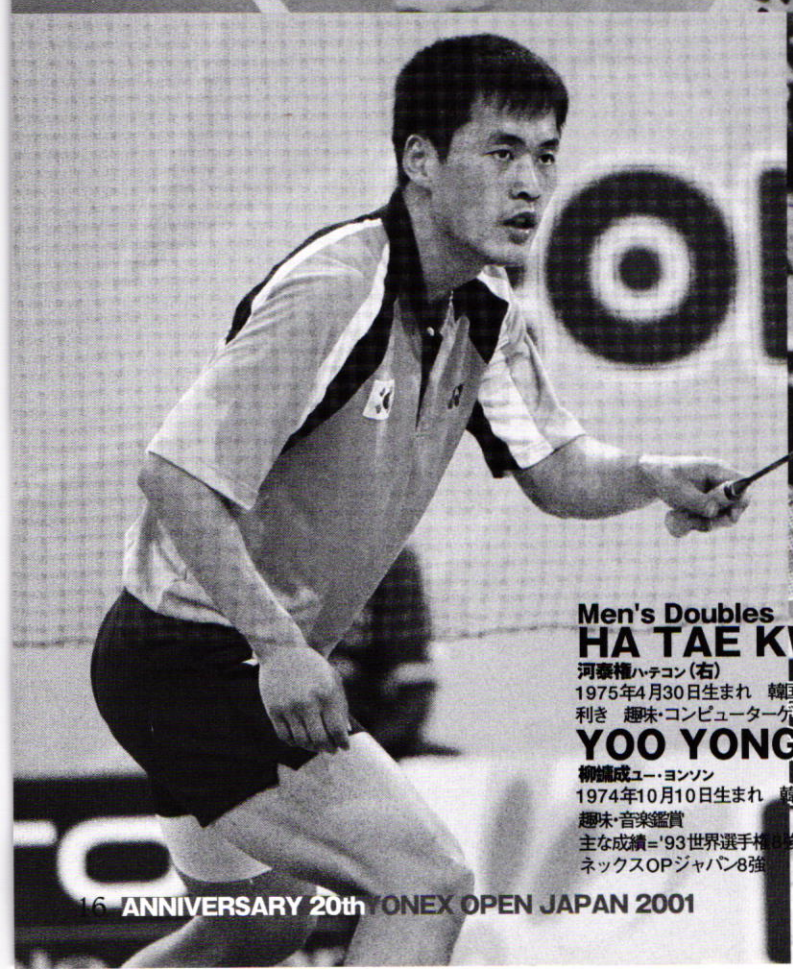
チャンドラ・ウィジャヤ(右)

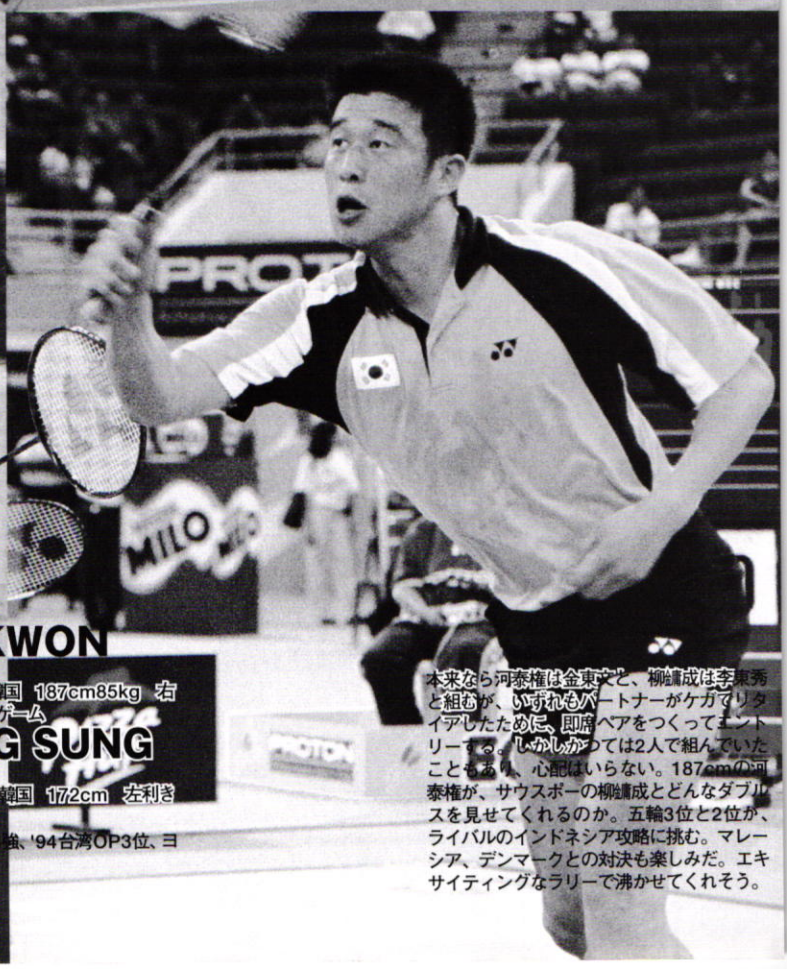
1975年9月16日生まれ　インドネシア　175cm
67kg　右利き　趣味・映画、音楽鑑賞

SIGIT BUDIARTO

シギット・ブディアルト

1975年11月24日生まれ　インドネシア　174cm
62kg　右利き　趣味・音楽鑑賞
主な成績＝'97台湾OP優勝、全英OP3位、世界選手権優勝、インドネシアOP優勝、'97'98シンガポールOP優勝、'97グランプリファイナル優勝、'01全英OP2位
ワールドランキング28位





Men's Doubles

HA TAE KWON

河泰権ハ・テコン(右)

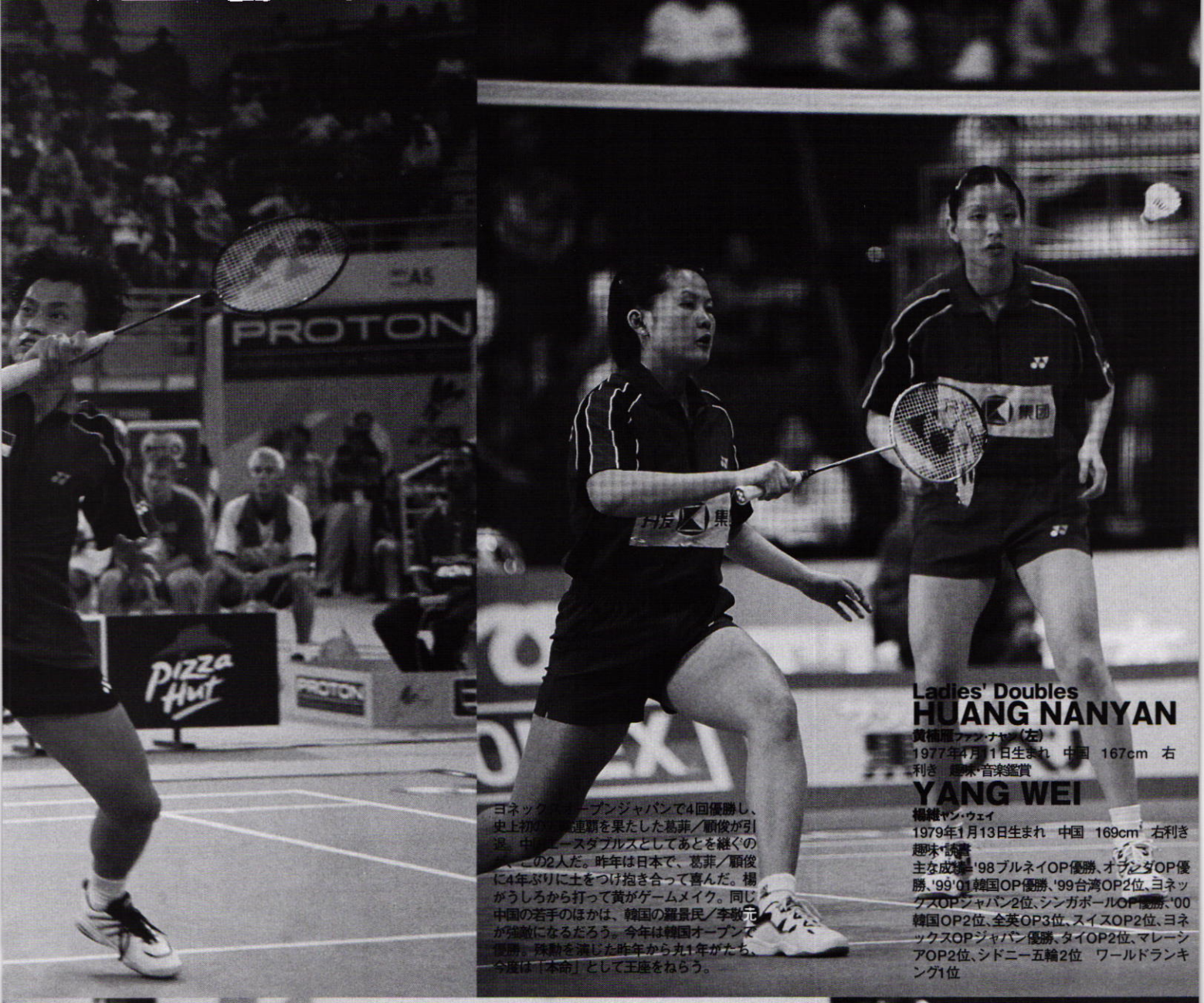
1975年4月30日生まれ　韓国　187cm85kg　右利き　趣味・コンピューターゲーム

YOO YONG SUNG

柳龍成ユー・ヨンソン

1974年10月10日生まれ　韓国　172cm　左利き
趣味・音楽鑑賞
主な成績＝'93世界選手権8強、'94台湾OP3位、ヨネックスOPジャパン8強

本来なら河泰権は金東文と、柳龍成は李東秀と組むが、いずれもパートナーがケガでリタイアしたために、即席ペアをつくってエントリーする。しかしかつては2人で組んでいたこともあり、心配はいらない。187cmの河泰権が、サウスポーの柳龍成とどんなダブルスを見せてくれるのか。五輪3位と2位が、ライバルのインドネシア攻略に挑む。マレーシア、デンマークとの対決も楽しみだ。エキサイティングなラリーで沸かせてくれそう。



ヨネックスオープンジャパンで4回優勝し、史上初の4連覇を果たした葛菲／顧俊が引退。中国ナンバーワンダブルスとしてあとを継ぐのが、この2人だ。昨年は日本で、葛菲／顧俊に4年ぶりに土をつけ抱き合って喜んだ。楊がうしろから打って黄がゲームメイク。同じ中国の若手のほかは、韓国の羅景民／李敬元が強敵になるだろう。今年は韓国オープンで優勝。殊勲を演じた昨年から丸1年がたち、今度は「本命」として王座をねらう。

Ladies' Doubles

HUANG NANYAN

黄楠雁 ファン・ナン（左）

1977年4月1日生まれ　中国　167cm　右利き　趣味・音楽鑑賞

YANG WEI

楊維 ヤン・ウェイ

1979年1月13日生まれ　中国　169cm　右利き　趣味・読書

主な成績＝'98ブルネイOP優勝、オランダOP優勝、'99'01韓国OP優勝、'99台湾OP2位、ヨネックスOPジャパン2位、シンガポールOP優勝、'00韓国OP2位、全英OP3位、スイスOP2位、ヨネックスOPジャパン優勝、タイOP2位、マレーシアOP2位、シドニー五輪2位　ワールドランキング1位





192cmのエリクセンがネット前に立つと威圧感十分。179cmのラーセンも迫力たっぷりに打ち込み、2人の波状攻撃は、一度調子に乗せると誰も止められない。3月の全英ではインドネシアのチャンドラ／シギットに準々決勝で屈したが、昨年のトマス杯ではファイナルで3回のマッチポイントをしのいで勝利をつかんだ。今大会、男子ダブルスは15年間アジアが制している。ヨーロッパの意地をそろそろ示したいところだろう。

Men's doubles

JENS ERIKSEN

イエンス・エリクセン（左）

1969年12月30日生まれ　デンマーク　192cm　82kg　右利き　趣味・車、音楽鑑賞

JESPER LARSEN

イエスパー・ラーセン

1972年10月29日生まれ　デンマーク　179cm　75kg　右利き

主な成績＝'98香港OP2位、'99韓国OP2位、インドネシアOP3位、'00台湾OP3位、'00'01スイスOP2位、'00ヨーロッパ選手権優勝、シドニー五輪5位、オランダOP3位、デンマークOP2位、'01韓国OP3位　ワールドランキング2位

シドニーオリンピックが終わり、各国が新旧を交代してのぞむ今年のヨネックスオープンジャパン。過去を振り返れば、オリンピックの翌年には必ず新星が躍り出て、世界のトップへと駆け登っている。今後を占う大会として、今年はとくに目が離せない戦いとなる。

男子シングルスは世界ランキング1位のピーター・ゲード・クリステンセンが、相性のいい日本で3回目の優勝をねらう。クリステンセンは昨年こそ8強に終わったが、98年、99年と連覇しており、やはり頂点にもっとも近い存在といえそうだ。今回はトマス杯でヒーローになったタウフィック・ヒダヤットや、昨年ヨネックスオープンジャパン、そして五輪でも準優勝を飾ったヘンドラワンというインドネシア勢が出場しておらず、よりチャンスがあるといえる。

クリステンセンをもっとも脅かしそうなのは、中国の夏煊澤だろう。世界ランキング2位の22歳はスピードがあり、とくにカットに切れ味がある。シドニーでは3位決定戦でクリステンセンを下している。しかし今年1月の韓国オープンでは互いに準決勝でぶつかり、夏が苦杯を喫した。実力どおりにいけば今回も準決勝か決勝を争うことになるだろうが、どちらに軍配が上がるか注目したい。さらに中国では、五輪金メダリストの吉新鵬、1カ月前に全英で準優勝を遂げた陳宏も侮れない。

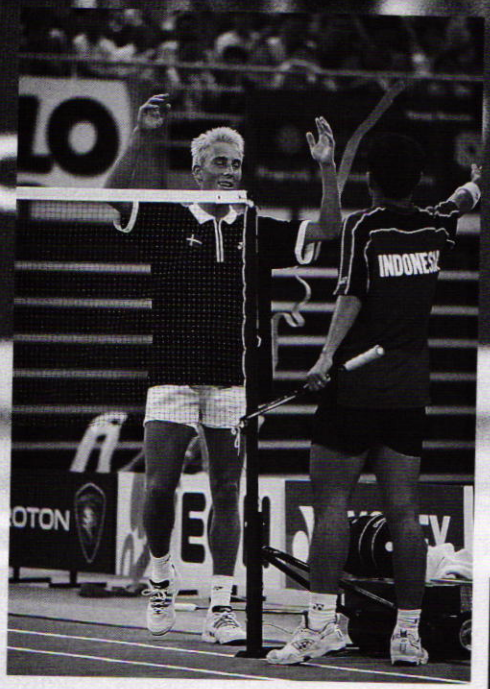
またダークホース的に躍進しそうなのが、マレーシアのロスリン・ハシム。全英で夏を下し3位、そして翌週のスイスオープンでは優勝と波に乗っている。昨年のこの大会では準々決勝でクリステンセンに勝っており、「彼のプレーを分析している。負ける気はしなかった」とコメントを残した。

一方、このところシングルス勢が弱いといわれた韓国にも、注目すべき選手がいる。サウスポーから巧みにシャトルを繰り出す李炫一、21歳。やわらかな球さばきを得意とする。

女子シングルスは中国対カミラ・マーチン（デンマーク）の戦いとなるだろう。残念ながら五輪金メダリストの中国・龔智超、2番手の葉蘭は来日をひかえたが、能力の高さではナンバー1といわれる周蜜がエントリーしている。昨年は準々決勝でマーチンと当たり、接戦のすえ敗れているが、10月のデンマークオープンでは雪辱。互いに174センチの長身で、技術、体力とも優れているので、勝負の明暗を分けるのは、精神力になるだろう。

層の厚い中国は、ほかにも龍宵娜、張寧ら実力者がおり、伸び盛りの若手、謝杏芳、湯春玉もエントリーしている。いずれも中国が期待する次代のホープだけに、この春大きく開花しそうだ。

日本のエース、米倉加奈子も十分、表彰台に届く位置にいる。シドニーオリンピックで力を出し切れなかった分、ここを一つの大きな目標にして再出発を誓っている。これまで代々木では、何度も上位ランカーを追い込みながら、あと少しで白星を奪えずにいる米倉





↑世界ランキング1位のクリステンセンは2年ぶり3度目の頂点をねらう。中国、マレーシアらライバルとの戦いは見逃せない
→日本の男子エース・舛田圭太（左）は大束忠司と組んでダブルスの上位をうかがう。昨年の16強からステップアップしたいところ

だが、今年は何かやってくれる予感がする。

続いてダブルスを展望してみよう。男子は世界ランキングの上位がほぼ顔をそろえ、準々決勝以前から、好カードが続出するだろう。なかでも見どころは、インドネシア対韓国のライバル対決。とくに97年世界王者のチャンドラ／シギットと韓国の第一人者・河泰権／柳鏞成がぶつかれば、シャトルはすばやく両コートを行き来して、観ている者はため息をつくか、そうでなければ鳥肌が立つに違いない。

ドーピング検査で陽性反応が出て1年間の出場停止処分を受けたシギットだが、今年からはかつてのパートナー、チャンドラと再びペアを組んでいる。「読み」がよく、前衛で飛び抜けたスピードを発揮するシギットは、シドニー五輪でトニーと組んで優勝を飾ったチャンドラと、久しぶりに頂点をめざす。

トニーはハリムと組んで参戦。全英では決勝でチャンドラ／シギットを下しており、安定感では一歩リードしているようだ。

韓国は金東文と李東秀がケガで不出場。それぞれのパートナーである河と柳が組むことになる。同じくインドネシアのリンプレ／ヒアン、またデンマークのエリクセン／ラーセン、そしてマレーシアのチューン／リーが死闘を繰り広げるだろう。日本の舛田／大束、片山／久保田らがどうからんでいくか。とくに今年からダブルスをメインにして挑む舛田／大束に視線が集まりそう。スイスオープンでは8強に入っている。

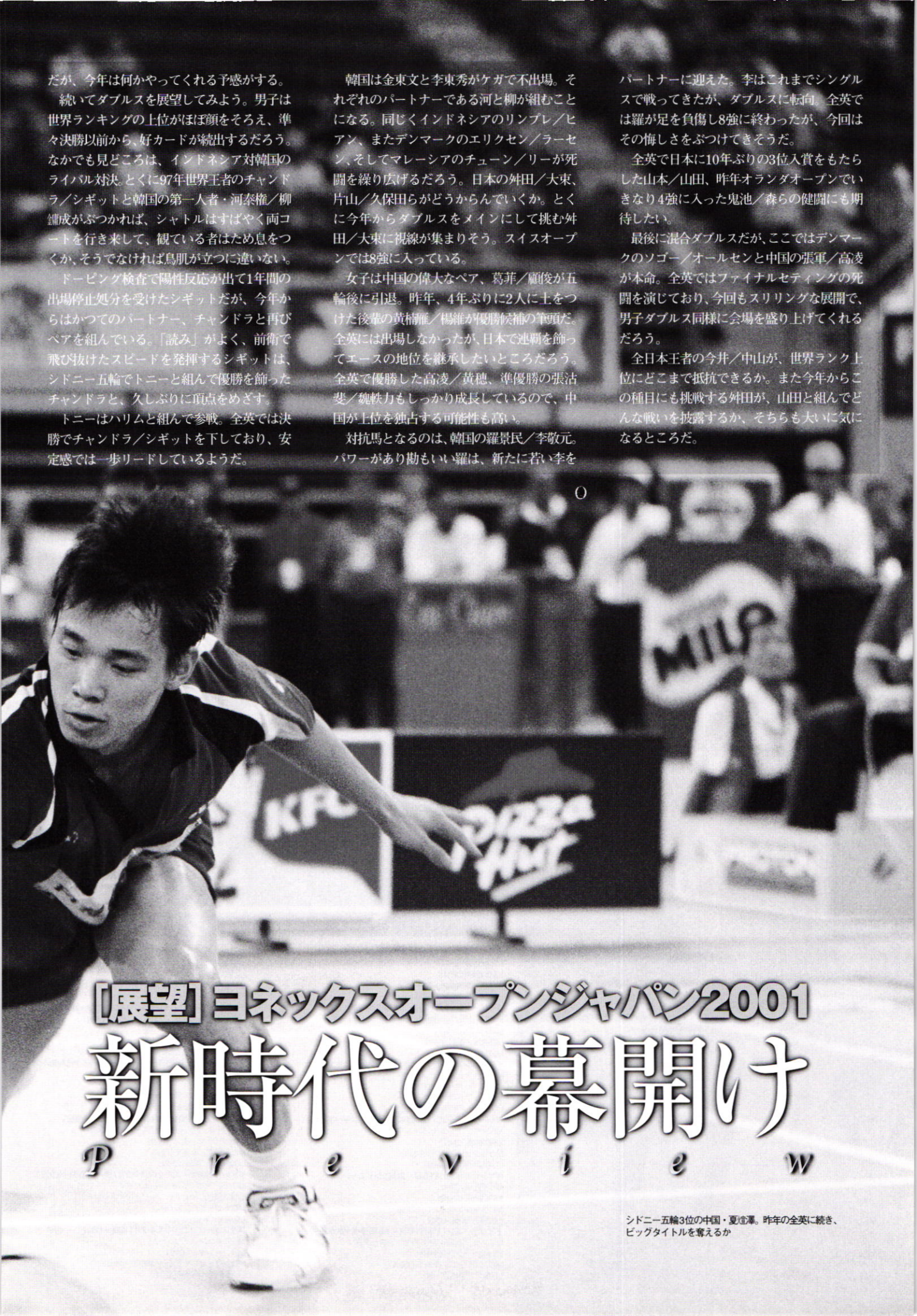
女子は中国の偉大なペア、葛菲／顧俊が五輪後に引退。昨年、4年ぶりに2人に土をつけた後輩の黄楠雁／楊維が優勝候補の筆頭だ。全英には出場しなかったが、日本で連覇を飾ってエースの地位を継承したいところだろう。全英で優勝した高凌／黄穂、準優勝の張沽斐／魏軼力もしっかり成長しているので、中国が上位を独占する可能性も高い。

対抗馬となるのは、韓国の羅景民／李敬元。パワーがあり勘もいい羅は、新たに若い李をパートナーに迎えた。李はこれまでシングルスで戦ってきたが、ダブルスに転向。全英では羅が足を負傷し8強に終わったが、今回はその悔しさをぶつけてきそうだ。

全英で日本に10年ぶりの3位入賞をもたらした山本／山田、昨年オランダオープンでいきなり4強に入った鬼池／森らの健闘にも期待したい。

最後に混合ダブルスだが、ここではデンマークのソゴー／オールセンと中国の張軍／高凌が本命。全英ではファイナルセティングの死闘を演じており、今回もスリリングな展開で、男子ダブルス同様に会場を盛り上げてくれるだろう。

全日本王者の今井／中山が、世界ランク上位にどこまで抵抗できるか。また今年からこの種目にも挑戦する舛田が、山田と組んでどんな戦いを披露するか、そちらも大いに気になるところだ。

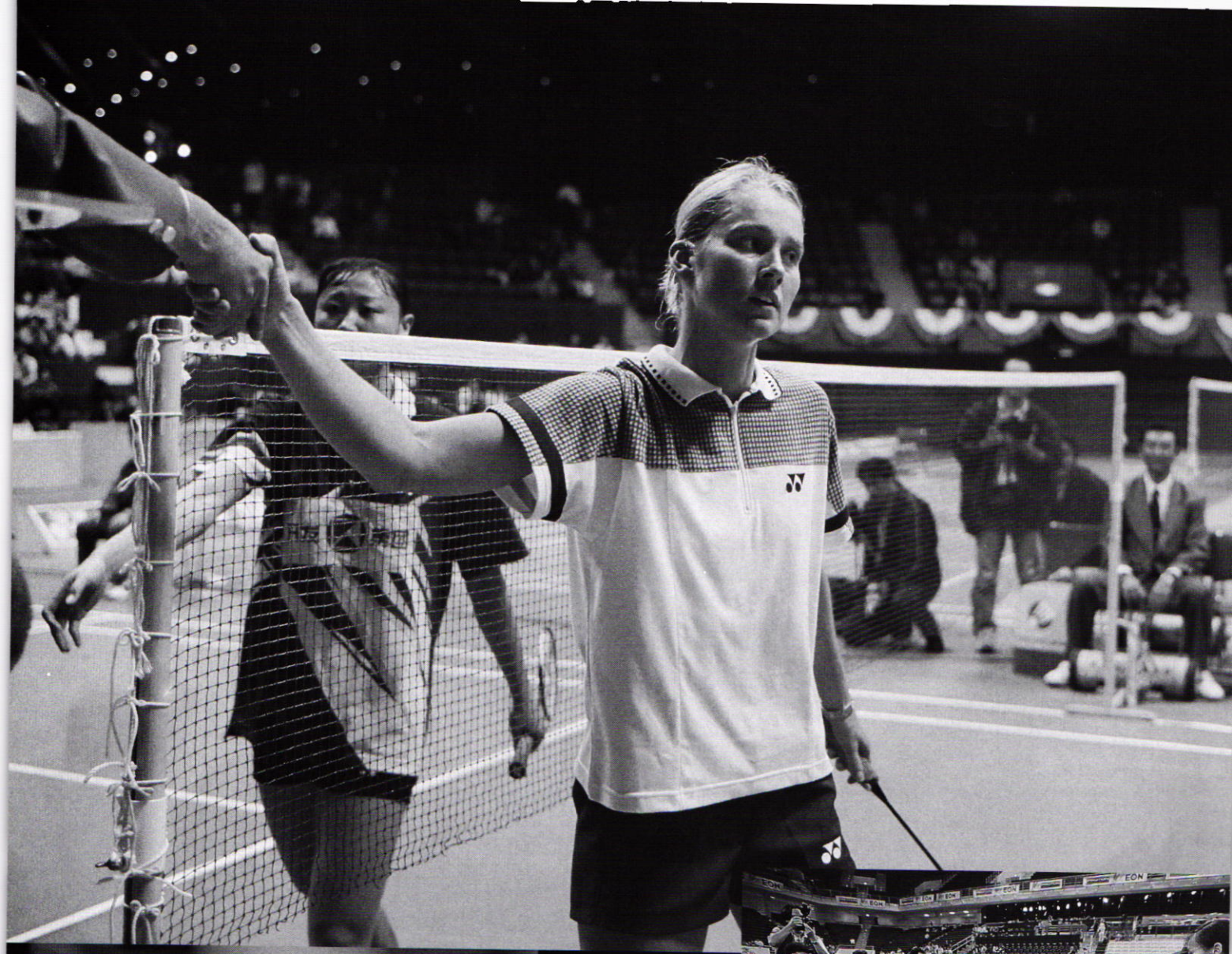


シドニー五輪3位の中国・夏煊澤。昨年の全英に続き、ビッグタイトルを奪えるか

[展望] ヨネックスオープンジャパン2001

新時代の幕開け

Preview







→単複ともに層の厚い中国女子。昨年は五輪で上位を独占し、ユーバー杯も保持してカメラのフラッシュを浴びた（写真）が、今大会でも次代を担う新星が現れそう

↑女子シングルスはマーチン（右）対周蜜（左）の決戦か。昨年は準々決勝で顔を合わせ、マーチンがファイナルで勝利をつかんだ

←日本の女子エース・米倉は表彰台に届くか。五輪で16強に終わった悔しさを胸に再出発を誓う

2000～2001年主要トーナメント優勝者一覧

ヨネックスオープンジャパン（4月4日～9日・東京）
MS吉新鵬（CHN）
LS張智超（CHN）
MDチャンドラ／トニー（INA）
LD黄楠雁／楊維（CHN）

タイオープン（7月11日～16日・バンコク）
MSヘンドラワン（INA）
LS葉釗穎（CHN）
MD張軍／張尉（CHN）
LD葛菲／顧俊（CHN）

インドネシアオープン（7月18日～23日・ジャカルタ）
MSタウフィック・ヒダヤット（INA）
LSカミラ・マーチン（DEN）
MDチャンドラ／トニー（INA）
LDグード／ケロッグ（ENG）

マレーシアオープン（8月16日～20日・シャーアラム）
MSタウフィック・ヒダヤット（INA）
LS張智超（CHN）
MDリンブレ／ヒアン（INA）
LD葛菲／顧俊（CHN）

オリンピック（9月16日～23日・シドニー）
MS吉新鵬（CHN）
LS張智超（CHN）
MDチャンドラ／トニー（INA）
LD葛菲／顧俊（CHN）

ドイツオープン（10月10日～15日・デュイスベルグ）
MSブラディスラフ・ドルチェンコ（UKR）
LSドン・ファン（CHN）
MDソゴー／ローゲセン（DEN）
LD魯嵩／黄穂（CHN）

オランダオープン（10月17日～22日・ヘルトゲンボスク）
MS陳宏（CHN）
LS周蜜（CHN）
MDシギット／ハリム（INA）
LDキルケガード／オールセン（DEN）

デンマークオープン（10月24日～29日・ファルム）
MSピーター・ゲード・クリステンセン（DEN）
LS周蜜（CHN）
MDリンブレ／ヒアン（INA）
LD陳林／蒋雪蓮（CHN）

アジア選手権（10月30日～11月5日・インドネシア・ジャカルタ）
MSタウフィック・ヒダヤット（INA）
LS謝杏芳（CHN）
MDレキシー／トニー（INA）
LD李孝貞／林敬珍（KOR）

韓国オープン（2001年1月9日～14日・済州島）
MSピーター・ゲード・クリステンセン（DEN）
LSカミラ・マーチン（DEN）
MD河泰権／金東文（KOR）
LD黄楠雁／楊維（CHN）

ヨネックス全英オープン（2001年3月7日～11日・バーミンガム）
MSプレラ・ゴピチャンド（IND）
LS張智超（CHN）
MDトニー／ハリム（INA）
LD高凌／黄穂（CHN）

スイスオープン（2001年3月14日～18日・バーゼル）
MSロスリン・ハシム（MAS）
LSピ・ホンヤン（CHN）
MDソゴー／ローゲセン（DEN）
LD羅景民／李敬元（KOR）

日本バドミントン専門店会

近くにいます。
ナイスアドバイザー



北海道ブロック
ラケットショップ スガワラ 011-271-3855
イトースポーツ 0166-32-1788
スポーツプラス 0155-23-9193

東北ブロック
ラケットショップ ササキ 0178-45-0028
ラケットハウス OISPO 0197-25-8823
ラケットショップ 広瀬 022-265-0778
ラケットショップ ABC 0188-63-1600
ラケットショップ 山形 023-643-6238
リトルビル 024-934-5642

北信越ブロック
プロショップサイトウスポーツ 025-223-1959
ラケットショップ 富山 0764-93-2311
スポーツショップショップ マツダ 0762-78-2848
フレンドスポーツ商会 0776-25-3385
バニスボックス 0266-22-8116

中国ブロック
フタバスポーツ 0859-44-5171
ラケットショップ ほしの 0852-28-5454
トッププロスポーツ 086-254-3419
杉山スポーツ 082-263-3939
ムネスエスポーツ 0833-41-0273

東海ブロック
ラケットショップ ノナカ 052-741-3757

関東ブロック
ラケットショップ SWING 0298-24-0097
ラケットショップ キャビン 048-643-5865
ラケットハウス グリップ 048-644-3115
ピークスポーツ 043-253-1103
ウェンブレー 03-3716-2626
ミノヤスポーツ 03-3652-1505
RBTイチムラ 03-3683-2963
ラケットショップ フジ 042-324-9923
ハローダックスポーツ 045-711-7988
甲府ラケットショップ 0552-24-3118

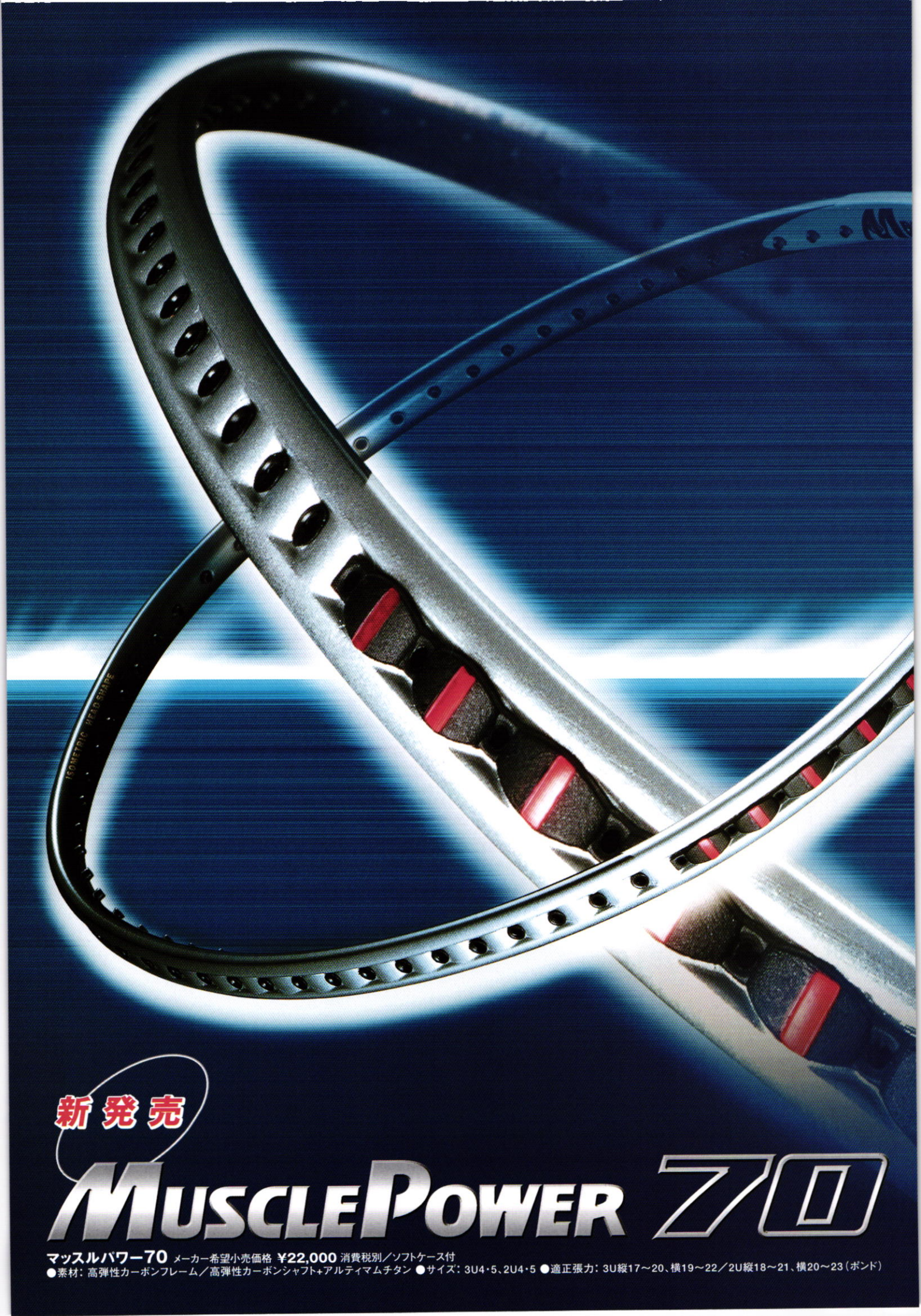
近畿ブロック
ラケットショップ イチムラ 075-841-6018
プロショップ シャトル 0775-94-5599
プロスポーツショップ B.WAY 075-882-2799
ラケットショップ クレセント 0724-22-8245
イノコザスポーツ 078-577-8681
STATUS SHOP B.B.A 07435-2-1384
スポーツショップ タツミ 0794-23-0353

四国ブロック
イツキスポーツ 0886-54-0353
プレイヤーズクラブ 0878-35-2033
ラケットショップ ハマナカ 089-933-2366
スポーツショップ フットワーク 0888-32-8939

九州ブロック
スポーツあいしん 092-473-0409
体育堂ラケットワークス Wai Wai 096-326-8132
スポーツショップ バード 099-226-8778

専門店から超専門店へ。 お客様とのお付き合いの中から、お客様に本当に合った商品選びを私達プロの目でアドバイスさせて頂きます。お気軽にご相談下さい。

www.badminton-psu.com



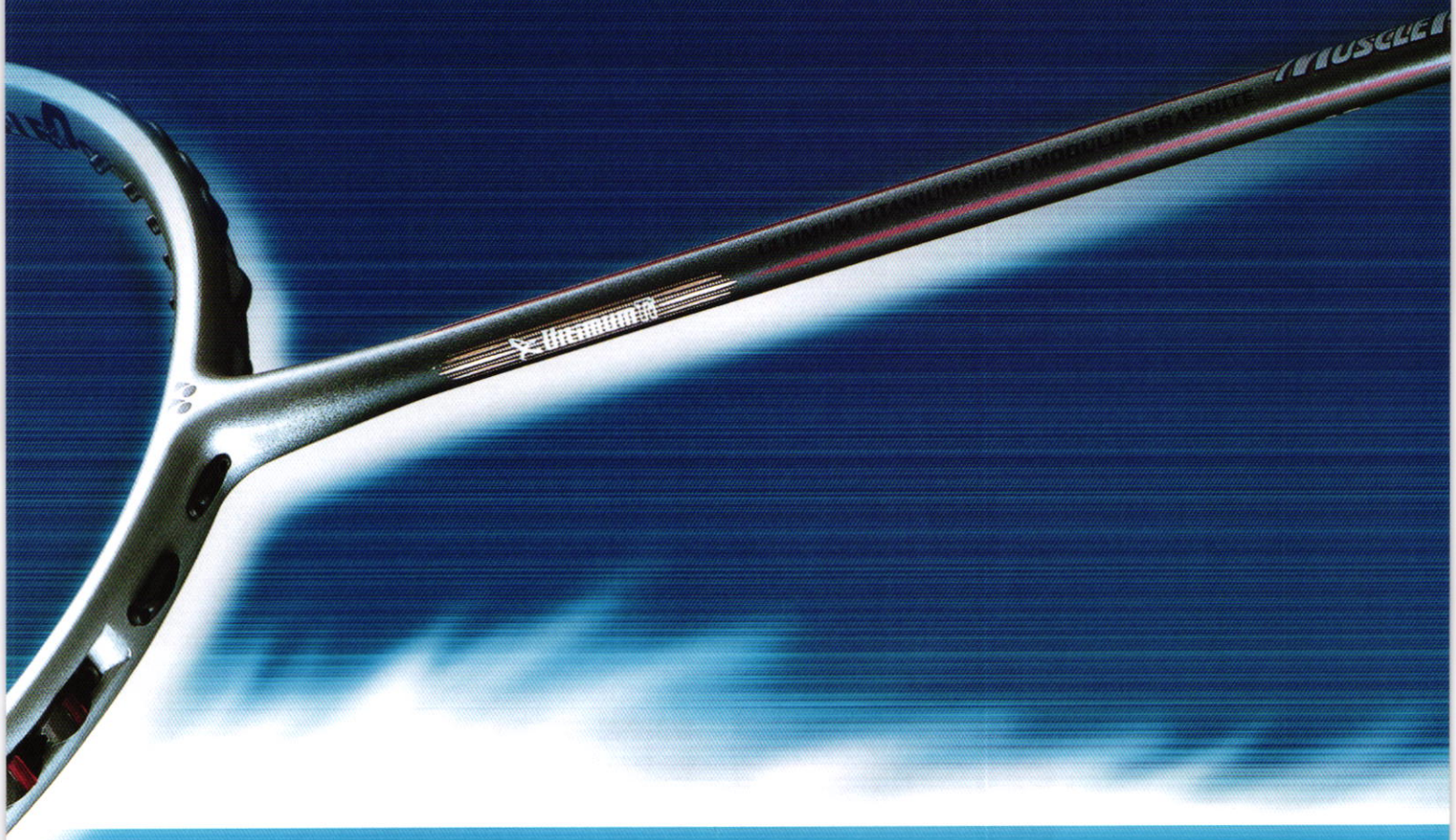
新発売

MUSCLE POWER 70

マッスルパワー70 メーカー希望小売価格 **¥22,000** 消費税別／ソフトケース付

●素材：高弾性カーボンフレーム／高弾性カーボンシャフト+アルティマムチタン ●サイズ：3U4・5、2U4・5 ●適正張力：3U縦17～20、横19～22／2U縦18～21、横20～23（ポンド）

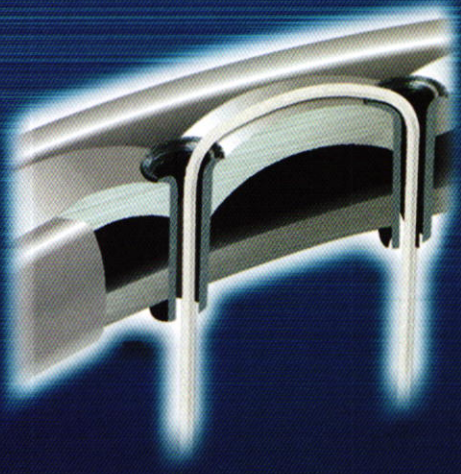
マッスルパワーの攻撃力。



未体験のスピード！ 狙えるコントロール！

フレームとストリングを一体化することで、パワーを高める新構造。

マッスルパワーフレーム（特許出願中）はフレームとストリングの一体化を図り、パワーを高めた独自の新構造。グロメット間を隆起させ、フレームとストリングの密着度を高めることで、打球時のエネルギーロスを抑えパワーをダイレクトにシャトルに伝えます。ヨネックスのニューテクノロジーが新世紀のバドミントンをパワフルに変える。



ヨネックス株式会社
東京／tel.03-3836-1221（代）　大阪／tel.06-6768-7261（代）
名古屋／tel.052-323-5541（代）　仙台／tel.022-232-1221（代）
福岡／tel.092-472-8751（代）　www.yonex.co.jp

YONEX®

京王プラザホテルのスペシャルバリューカード
47倶楽部ただ今、会員募集中!!

京王プラザホテルがご用意するあなたの『特等席』。

47倶楽部
Forty-seven Club

“もっと自由に、もっと楽しく”
京王プラザホテルをご利用いただくための会員組織
『47倶楽部』が誕生いたしました。
どうぞ、お気軽にお問合せください。



47倶楽部・プラチナ
年会費70,000円
京王プラザホテルを丸ごと愉しむエグゼクティブのためのカード。宿泊料金・飲食料金50%OFFなど多彩な特典をラインナップしております。

47倶楽部・ゴールド
年会費20,000円
60歳以上の方を対象に、ゆとりと潤いのあるライフステージを提供するカード。宿泊料金・飲食料金50%OFFなど、ご家族での行事やお友達との会合に役立つうれしい特典が満載です。





47倶楽部・ダイヤモンド
年会費10,000円
20歳～35歳までの方を対象に、飲食料金の50%OFFや10万円の旅行券進呈など魅力的な特典を多数ご用意いたしました。

入会案内をご用意しております。ご請求・お問合せは下記までどうぞ。

http://www. keioplaza.co.jp 京王プラザホテル 〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

お問合せ・お申込み…47倶楽部事務局 TEL.(03)3344-0111(代)

IBF WORLD RANKING

世界ランキング

3月15日・イングランド事務局発表

男子シングルス

①	ピーター・ゲード・クリステンセン	(デンマーク)
②	夏煊澤	(中国)
③	吉新鵬	(中国)
④	ヘンドラワン	(インドネシア)
⑤	プレラ・ゴピチャンド	(インド)
⑥	タウフィック・ヒダヤット	(インドネシア)
⑦	ロスリン・ハシム	(マレーシア)
⑧	陳　宏	(中国)
⑨	ケネス・ヨナセン	(デンマーク)
⑩	マーレフ・マイナキー	(インドネシア)
⑪	アンダース・ボーセン	(デンマーク)
⑫	朴泰相	(韓国)
⑬	リチャード・ボーガン	(ウェールズ)
⑭	李炫一	(韓国)
⑮	ジョハン・ハディクスマ	(インドネシア)
⑯	ブディ・サントソ	(インドネシア)
⑰	オン・ユーホック	(マレーシア)
⑱	肖　輝	(中国)
⑲	ウォン・チューハン	(マレーシア)
⑳	ブラディスラフ・ドルチェンコ	(ウクライナ)
㉑	ラスムス・ウェンバーグ	(スウェーデン)
㉒	トーマス・ヨハンソン	(スウェーデン)
㉓	ジョージ・リマルディ	(スウェーデン)
㉔	オリバー・ポングラツ	(ドイツ)
㉕	アグス・ハリアント	(香港)
㊷	佐藤翔治	(日本)
㊹	山田英孝	(日本)

女子シングルス

①	カミラ・マーチン	(デンマーク)
②	龔智超	(中国)
③	戴　韞	(中国)
④	周　蜜	(中国)
⑤	龔睿娜	(中国)
⑥	マリナ・アンドリエフスカヤ	(スウェーデン)
⑦	王　晨	(香港)
⑧	金志炫	(韓国)
⑨	ケリー・モーガン	(ウェールズ)
⑩	葉釗穎	(中国)
⑪	米倉加奈子	(日本)
⑫	メッテ・ソーレンセン	(デンマーク)
⑬	水井泰子	(日本)
⑭	ユディト・ミューレンデークス	(オランダ)
⑮	ミア・アウディナ	(オランダ)
⑯	リディア・ジャエラウィジャヤ	(インドネシア)
⑰	ジュリア・マン	(イングランド)
⑱	田中美保	(日本)
⑲	曽雅琼	(中国)
⑳	李敬元	(韓国)
㉑	凌婉婷	(香港)
㉒	エレン・アンジェリナ	(インドネシア)
㉓	井田貴子	(日本)
㉔	湯春玉	(中国)
㉕	張　寧	(中国)
㊻	小室恭子	(日本)

男子ダブルス

①	リンプレ／ヒアン	(インドネシア)
②	エリクセン／ラーセン	(デンマーク)
③	チューン・タンフック／リー・ワンワー	(マレーシア)
④	李東秀／柳鏞成	(韓国)
⑤	ルンドガード・ハンセン／パスク	(デンマーク)
⑥	アーチャー／N.ロバートソン	(イングランド)
⑦	河泰権／金東文	(韓国)
⑧	シギット／ハリム	(インドネシア)
⑨	チャンドラ／トニー	(インドネシア)
⑩	ソゴー／ローゲセン	(デンマーク)
⑪	ラスムセン／ランプ	(デンマーク)
⑫	張軍／張尉	(中国)
⑬	アクセルソン／ヨーンソン	(スウェーデン)
⑭	ロゴス／マトゥーシアク	(ポーランド)
⑮	サリバン／クラーク	(イングランド)
㊶	舛田圭太／大東忠司	(日本)
㊷	片山卓哉／久保田雄三	(日本)
㊽	今井紀夫／大山宏司	(日本)

女子ダブルス

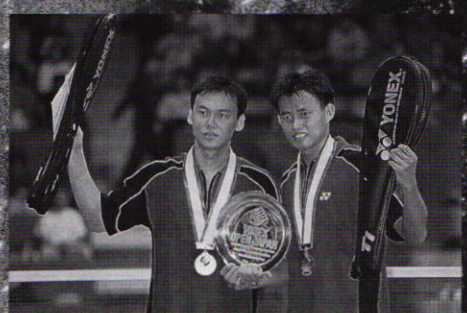
①	黄楠雁／楊維	(中国)
②	林敬珍／李孝貞	(韓国)
③	葛菲／顧俊	(中国)
④	グード／ケロッグ	(イングランド)
⑤	キルケガード／オールセン	(デンマーク)
⑥	ファンホーレン／ヨナサンス	(オランダ)
⑦	陳林／蔣雪蓮	(中国)
⑧	ショルダガー／A.L.ヨーゲンセン	(デンマーク)
⑨	岩田良子／松田治子	(日本)
⑩	秦芸源／高凌	(中国)
⑪	タントリ／ツワンコッタ	(インドネシア)
⑫	バンジ／ハーダー	(デンマーク)
⑬	アンデルセン／モルク	(デンマーク)
⑭	張沽斐／魏軼力	(中国)
⑮	ヤクシェワ／ルスルヤコワ	(ロシア)
⑯	井川里美／永峰弘子	(日本)
⑳	山本静香／山田青子	(日本)
㉖	鬼池めぐみ／森かおり	(日本)

混合ダブルス

①	ソゴー／オールセン	(デンマーク)
②	張軍／高凌	(中国)
③	エリクセン／ショルダガー	(デンマーク)
④	アーチャー／グード	(イングランド)
⑤	金東文／羅景民	(韓国)
⑥	陳其道／陳林	(中国)
⑦	ボー／アンデルセン	(デンマーク)
⑧	クシャリアント／ティムール	(インドネシア)
⑨	サリバン／エムス	(イングランド)
⑩	アグン／エルマワティ	(インドネシア)
㊶	久保田雄三／松田治子	(日本)
㊸	片山卓哉／岩田良子	(日本)
㊹	今井紀夫／中山智香子	(日本)



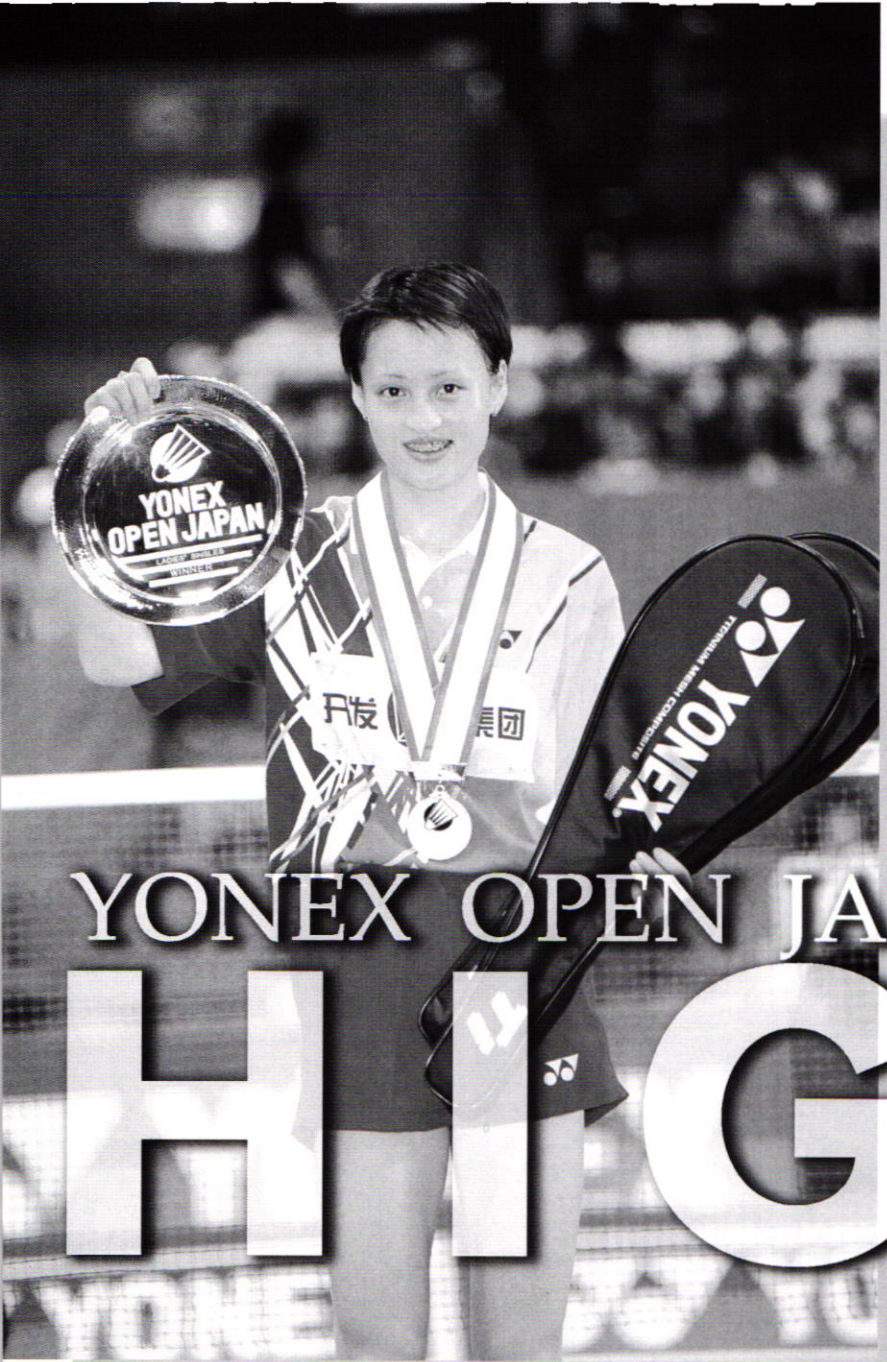






ヨネックスオープンジャパン2000ハイライト

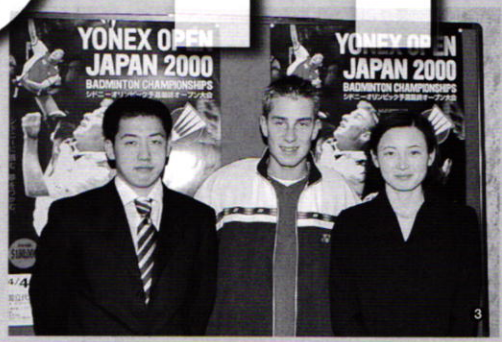
2000年4月4日～9日●東京・国立代々木競技場第2体育館







YONEX OPEN JAPAN 2000 HIGH













左頁写真大／3年連続同じ顔合わせとなった女子シングルス。98年に優勝した龔智超選手は、先輩の葉釗穎選手を7本3本で下し2度目の栄誉をつかみました。今年は来日できないのが、本当に残念！

❶単複に出場した舛田圭太選手は、スウェーデン、マレーシア選手を下し、シングルスで16強入り。3回戦は全身ケイレンで棄権しましたが、ダブルスに専念する今年はきっと、結果を残してくれるはず!?

❷男子シングルスで同じく16強入りを果たしたのは高校3年生の佐藤翔治選手。2回戦でラシッド・シデク選手（マレーシア）が棄権したためですが、その後に行なわれたタイオープンではロスリン・ハシム選手（マレーシア）を下す殊勲。今後の活躍がますます楽しみです

❸大会初日、京王プラザホテルにて注目選手の記者会見が行なわれました。壇上には3連覇のかかるデンマークのピーター・ゲード・クリステンセン選手ほか、日本からは舛田選手、水井泰子さんが臨席。会見後、ポスターの前で記念撮影をさせていただきました

❹レセプションパーティーでは、各国選手の好みに合うよう和洋中、さまざまな料理が並べられました。中国選手はやはり母国の料理が好きなようで、龔選手（中央）のお皿には餃子がのっています

❺普段はウエアー姿が素敵な選手たちですが、ドレスアップすると一段と見違える！三洋電機チームの皆さんです

❻全英のタイトルを引っ提げて来日した中国の夏煊澤選手は、カメラを向けられびっくりした様子。しかしその後はすれ違うたびにっこり笑ってくれるようになりました

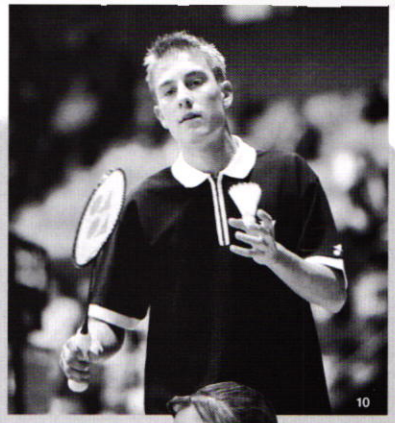
❼陣内貴美子さん（右）がヨネックスの後輩・岩田良子選手（左）と、今年引退した高岩佳恵さんとパチリ。陣内さんと高岩さんは、きれいな緑色でキメています

❽シドニー五輪代表の松田治子さん（左）と水井さん（右）に「リッキーと写真を撮りたい！」と頼まれ、写したのがこの1ショット。それにしてもリッキーが海外トーナメントから引退したなんて寂しいですね

LIGHT

シドニーオリンピック選考期間で、最後のオープン大会となったヨネックスオープンジャパン2000。国立代々木競技場第2体育館に238名の選手が集結し、熱い戦いを繰り広げた。男女シングルスでは吉新鵬（中国）と龔智超（中国）が優勝、ともにシドニー五輪でも頂点に立った。女子ダブルスは4連覇がかかる中国・葛菲／顧俊が敗れたが、中国は男子ダブルスをのぞく4種目で優勝をさらった。大会を華やかに彩るトッププレーヤーのコート内外のショットをここに紹介します！

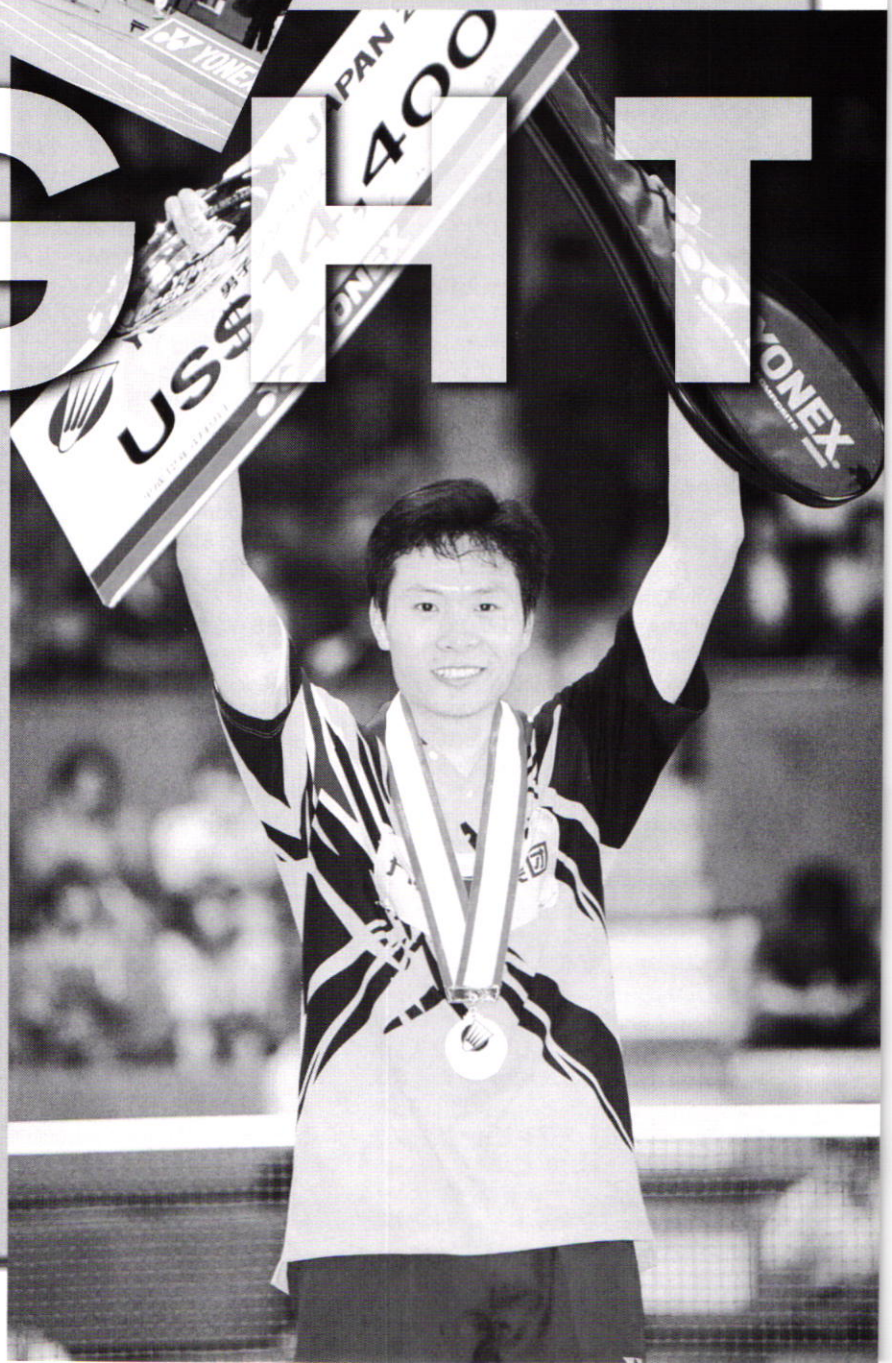












右頁写真大／ヨネックスオープンジャパンで初のトーナメント優勝を飾った吉新鵬選手。ダイナミックなプレーは光っていましたが、このとき誰が五輪でも優勝すると予想したでしょうか

❾昨年、もっとも大きな波乱は4連覇をねらう中国の葛＆顧選手（左）が、後輩の黄＆楊選手に敗れたこと。黄＆楊選手は偉大な先輩を下すと、抱き合って喜びました

❿日本でも人気のP・G・クリステンセン選手は、準々決勝でハシム選手にファイナルで敗退。「トリッキーな球で逆転しようとしたら、すべてが裏目に出てしまった」

⓫こちらはそのクリステンセン選手を退けたハシム選手。価値ある勝利を収めると、観客に拍手を求めるパフォーマンスで場内を沸かせました

⓬96年のアトランタ五輪で、弱冠16歳にして銀メダルを獲得したミア・アウティナ選手。オランダ人のゴスペル歌手と結婚して、少しふっくらした様子

⓭P・G・クリステンセン選手（右）は恋人のカミラ・マーチン選手のコーチ役も。マーチン選手が葉選手と対戦した準決勝では「一気合で上回れ！」と檄を飛ばしたそうです

⓮くしくもシドニー五輪の決勝と同じ顔合わせだった男子シングルス。182cmと長身の吉選手はインドネシアのヘンドラワン選手をパワーで圧倒しました

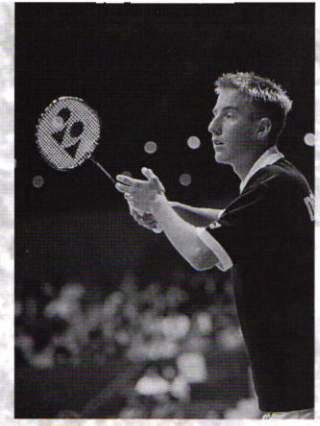
⓯シドニー五輪をもって、引退を表明した葉選手。日本で3度頂点に辿り着いた強さとその美しい姿が相まって、このとおり大人気でした

⓰5ツ星大会のヨネックスオープンの賞金総額は、18万ドル（約2000万円）。男子シングルスで優勝した吉選手は14400ドル（約172万円）を手に入れました









出場予
Compe

男子 MEN

●AUSTRIA　オーストリア
Masahiko Tanaka　タナカ・マサヒコ

●CHINA　中国
Ji Xinpeng　吉新鵬
Xia Xuanze　夏煊澤
Xiao Hui　肖輝
Chen Hong　陳宏
Cai Yun　蔡雲
Zhang Jun　張軍
Zhang Wei　張尉
Liu Yong　劉永
Chen Qiqiu　陳其道

●CHINESE TAIPEI　中華台北
Lai Kuan-Hung　賴冠宏
Lai Kuan-Cheng　賴冠成
Huang Shih-Chung　黄世忠
Chien Yu-Hsiun　簡佑旬

●DENMARK　デンマーク
Peter Gade Christensen　ピーター・ゲード・クリステンセン
Anders Boesen　アンダース・ボーセン
Kenneth Jonassen　ケネス・ヨナセン
Jens Eriksen　イエンス・エリクセン
Jesper Larsen　イエスパー・ラーセン
Martin Lundgaard Hansen　マーチン・ルンドガード・ハンセン
Lars Paaske　ラース・パスク
Michael Sogaard　ミカエル・ソゴー
Jim Laugesen　ジム・ローゲセン

●ENGLAND　イングランド
Colin Haughton　コリン・ホートン
Mark Constable　マーク・コンスタブル
Michael Edge　マイケル・エッジ
Andrew South　アンドリュー・サウス
Peter Jeffrey　ピーター・ジェフリー
Nathan Robertson　ネイサン・ロバートソン
Anthony Clark　アンソニー・クラーク
Ian Sullivan　イアン・サリバン
Chris Hunt　クリス・ハント
Julian Robertson　ジュリアン・ロバートソン
James Anderson　ジェームズ・アンダーソン
Graham Hurrell　グラハム・ハレル
David Lindley　デビッド・リンドリー

●HONG KONG　香港
Tam Kai Chuen　譚啓銓
Ng Wei　呉蔚
Ma Che Kong　馬智江
Yau Kwun Yuen　丘観元
Albertus Susanto Njoto　アルベルトス・スサント・ジョト
Liu Kowk Wa　廖國華

●INDONESIA　インドネシア
Marleve Mainaky　マーレフ・マイナキー
Johan Hadikusuma　ジョハン・ハディクスマ
Roni Agustinus　ロニ・アグスティヌス
Nunung Subandoro　ヌヌン・スバンドロ(NTT東日本宮城)
Flandy Limpele　フランディ・リンプレ
Eng Hian　エン・ヒアン
Candra Wijaya　チャンドラ・ウィジャヤ
Sigit Budiarto　シギット・ブディアルト
Tony Gunawan　トニー・グナワン
Halim Heryatno　ハリム・ハリアント
Reony Mainaky　リオニー・マイナキー(YKK九州)
Harmono Yuwono　ハルモノ・ユウォノ(NTT東日本宮城)
Yasunori Sekine　関根靖則(NTT東日本宮城)
Bambang Suprianto　バンバン・スプリアント
Tri Kusharjanto　トリ・クシャリアント
Nova Widhianto　ノバ・ウィディアント

●KOREA　韓国
Lee Hyun Il　李炫一
Shon Seung Mo　孫升模
Ha Tae Kwon　河泰権
Yoo Yong Sung　柳鏞成

●MALAYSIA　マレーシア
Wong Choong Hann　ウォン・チューハン
Ong Ewe Hock　オン・ユーホック
Yeoh Kay Bin　イエー・カイビン
Lee Tsuen Seng　リー・シェンセン
Ismail Saman　イスマイル・サマン
Sairul Amar Ayob　サイルル・アマール・アヨブ
Lee Chong Wei　リー・チョンウェイ
Muhammad Roslin Hashim　ムハンマド・ロスリン・ハシム
Muhammad Hafiz Hashim　ムハンマド・ハフィス・ハシム
Muhammad Hashim　ムハンマド・ハシム
Pei Wee Chung　ペイ・ウィーチュン
T.S.Nathen Ramesh　T.S.ネイザン・ラメシュ
Chew Ming Yao　チェン・ミンヤオ
Chua Kie How　チュア・キーホウ
Choong Tan Fook　チューン・タンフック
Lee Wan Wah　リー・ワンワー
Chan Chong Ming　チャン・チョンミン
Chew Choon Eng　チュー・チューンエン
Rosman Razak　ロスマン・ラザク
Chang Kim Wai　チェン・キムワイ

●NETHERLANDS　オランダ
Dicky Palyama　ディギー・パルヤマ

●SWEDEN　スウェーデン
Rasmus Wengberg　ラスムス・ウェンバーグ
George Rimarcdi　ジョージ・リマルディ
Daniel Eriksson　ダニエル・エリクソン
Fredrik Bergstrom　フレドリック・バーグストロム
Henrik Andersson　ヘンリック・アンデルソン

●THAILAND　タイ
Boonsak Polsana　ブーンサック・ポンサナ
Anupap Thiraratsakul　アヌパープ・ティララットサクン
Khunakorn Sudhisodhi　クナコーン・スディソディ
Patapol Ngernsrisuk　パタポン・グンシースク
Kitipon Kitikul　キティポン・キティクン
Sudket Prapakamol　スドケット・プラパカモン
Pramote Teerawiwatana　プラモート・ティーラウィワタナ
Tesna Panvisvas　テサナ・パンウィスワート

●WALES　ウェールズ
Richard Vaughan　リチャード・ボーガン

●JAPAN　日本
Hidetaka Yamada　山田英孝(日本ユニシス)
Shinya Ohtsuka　大束真也(日本体育大)
Josemari Fujimoto　藤本ホセマリ(日本ユニシス)
Takaaki Taniuchi　谷内貴昭(トナミ運輸)
Kazuhiro Shimokami　霜上和宏(YKK九州)
Yosuke Nakanishi　中西洋介(日本大)
Shoji Sato　佐藤翔治(富士短期大)
Sho Sasaki　佐々木翔(富士短期大)
Yoshinaga Enomoto　榎本良永(日本体育大)
Takuya Katayama　片山卓哉(NTT東日本)
Yuzo Kubota　久保田雄三(NTT東日本)
Keita Masuda　舛田圭太(トナミ運輸)
Tadashi Ohtsuka　大束忠司(トナミ運輸)
Norio Imai　今井紀夫(トナミ運輸)
Hiroshi Ohyama　大山宏司(トナミ運輸)
Katsuya Nishiyama　西山勝也(長崎東高教)
Shinji Ohta　太田慎二(NTT東日本)
Takuya Takehana　竹鼻拓也(NTT東日本)
Toru Matsumoto　松本徹(NTT東日本)
Takanori Aoki　青木孝徳(NTT東日本)
Masahiro Yabe　矢部正博(日本ユニシス)
Hiroshi Kagaya　加賀谷洋(日本ユニシス)
Keishi Kawaguchi　川口馨士(NTT西日本大阪)
Tatsuya Hirai　平井達也(NTT西日本大阪)
Shuichi Nakao　仲尾修一(筑波大)
Shuichi Sakamoto　坂本修一(筑波大)
Fumihiko Machida　町田文彦(NTT東日本)

定選手

titors

女子 LADIES



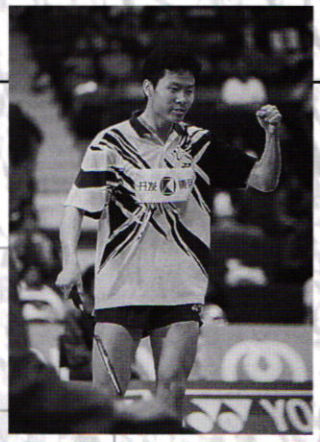
●CANADA　カナダ
Denyse Julien　デニス・ジュリエン
●CHINA　中国
Zhou Mi　周蜜
Gong Ruina　龔睿娜
Zhang Ning　張寧
Xie Xingfang　謝杏芳
Tang Chunyu　湯春玉
Yang Wei　楊維
Huang Nanyan　黄楠雁
Gao Ling　高凌
Huang Sui　黄穂
Wei Yili　魏軼力
Zhang Jiewen　張沽斐
Cheng Jiao　程嬌
●CHINESE TAIPEI　中華台北
Chien Yu-Chin　簡毓瑾
Cheng Wen-Hsin　程文欣
●DENMARK　デンマーク
Camilla Martin　カミラ・マーチン
Mette Sorensen　メッテ・ソーレンセン
Helene Kirkegard　ヘレン・キルケガード
Rikke Olsen　リッケ・オールセン
Ann-Lou Jorgensen　アン・ルー・ヨーゲンセン
Mette Schjoldager　メッテ・ショルダガー
Majken Vange　マイケン・バンジ
Pemille Harder　ペミレ・ハーダー
Jane F.Bramsen　ジェーン・F・ブラムセン
●ENGLAND　イングランド
Julia Mann　ジュリア・マン
Rebecca Pantaney　レベッカ・パンタニー
Gail Emms　ゲイル・エムス
Donna Kellogg　ドナ・ケロッグ
Sarah Hardaker　サラ・ハーディカー
Emma Chaffin　エマ・チャフィン
Ella Miles　エラ・マイルズ
Sara Sankey　サラ・サンキー
Jo Wright　ジョー・ライト
●GERMANY　ドイツ
Katja Michalowsky　カーチャ・ミハロスキー
●HONG KONG　香港
Wang Chen　王晨
Ling Wan Ting　凌婉婷
Koon Wai Chee　官恵慈
Chan Mei Mei　陳薇薇
Li Wing Mui　李詠梅
●INDONESIA　インドネシア
Deyana Lomban　デヤナ・ロンバン
Indarti Issoliana　インダルティ・イソリアナ
Minarti Timur　ミナルティ・ティムール
Vita Marissa　ヴィタ・マリサ
●KOREA　韓国
Jun Jae Youn　全在娟
Seo Yoon Hee　徐潤熙
Ra Kyung Min　羅景民
Lee Kyung Won　李敬元
Lee Hyo Jung　李孝貞
Hwang Yoo Mee　黄遊美

●MALAYSIA　マレーシア
Lee Yin Yin　リー・インイン
Wong Miew Kheng　ウォン・ミューヘン
Chin Ee Hui　チン・イーホイ
Ang Li Peng　アン・リーポン
Lim Pek Siah　リム・パッシャー
Joanne Quay　ジョアン・クワイ
●SCOTLAND　スコットランド
Fiona Sneddon　フィオーナ・スネドン
Yuan Weymss　ユアン・ウェミス
Sandra Watt　サンドラ・ワット
●SWEDEN　スウェーデン
Marina Andrievskaia　マリナ・アンドリエフスカヤ
Jenny Karlsson　ジェニー・カールソン
●THAILAND　タイ
Sujitra Ekmongkolpaisarn　スジトラ・エークモンコンパイサーン
Salakjit Polsana　サラックチット・ポンサナ
Saralee Thungthongkam　サラリー・トゥントーンカム
Sathinee Chankrachangwong　サーティニー・チャンクラチャンウォン
●WALES　ウェールズ
Kelly Morgan　ケリー・モーガン
●JAPAN　日本
Kanako Yonekura　米倉加奈子
Miho Tanaka　田中美保(三洋電機)
Kaori Mori　森かおり(三洋電機)
Fumi Iwawaki　岩脇史(早稲田大)
Mika Anjo　安城美華(三洋電機)
Eriko Iwamatsu　岩松絵理子(NTT北海道)
Kyoko Komuro　小室恭子(NEC相模原)
Chiharu Tagami　田上千晴(三洋電機)
Yoshimi Hataya　幡谷好美
Reiko Shiota　潮田玲子(九州国際大付高)
Kumiko Ogura　小椋久美子(四天王寺高)
Tomomi Matsuda　松田友美(ヨネックス)
Etsuko Teramoto　寺本悦子(ヨネックス)
Shizuka Yamamoto　山本静香
Seiko Yamada　山田青子
Megumi Oniike　鬼池めぐみ(三洋電機)
Chikako Nakayama　中山智香子(三洋電機)
Keiko Yoshitomi　吉冨桂子(NEC九州)
Masami Yamasaki　山崎雅美(NEC九州)
Akiko Nakashima　中島暁子(NEC九州)
Satoko Suetsuna　末綱聡子(NEC九州)
Keiko Nakauchi　中内景子(青山学院大)
Noriko Ohkuma　大熊倫子(青山学院大)
Shiori Ohshita　大下詩織(東北電力新潟)
Eri Kobiyama　媚山映里(東北電力新潟)
Yoshiko Iwata　岩田良子(ヨネックス)
Satomi Igawa　井川里美(NEC相模原)
Yukiko Kataito　片糸由希子(ヨネックス)
Chihiro Ohsaka　大坂千尋(北都銀行)
Rie Ichihashi　市橋理恵(NTT東日本)
Mika Ohtsuka　大塚三佳(NTT東日本)
Yuko Watanabe　渡辺夕子(広島ガス)
Yoshiko Tago　田児よし子(NTT東日本)
Miyo Akao　赤尾美代(昭和女子高職)

ヨネックスオープンジャパン2001

競技日程

※種目・開始時間は変更される場合もあります。



4月3日（火）
男子単・複予選／女子単・複予選
9:00開場／9:00開始

4月4日（水）
男子単・複1回戦／女子単・複1回戦／混合複1回戦
9:00開場／9:00開始

4月5日（木）
男子単2～3回戦・複2回戦／女子単・複2回戦／混合複2回戦
9:00開場／9:00開始



4月6日（金）
男子単・複／女子単・複／混合複…各種目準々決勝
12:00開場／14:00開始

4月7日（土）
男子単・複／女子単・複／混合複…各種目準決勝
11:00開場／13:00開始



4月8日（日）
男子単・複／女子単・複／混合複…各種目決勝
11:00開場／12:00開始

賞金総額

US $ 180,000

	優勝	準優勝	3～4位	5～8位	9~16位
男子シングルス	$14,400	$7,200	$3,600	$1,800	$720
女子シングルス	$12,420	$5,940	$3,240	$1,620	—
男子ダブルス	$12,960	$7,200	$4,320	$2,520	—
女子ダブルス	$10,980	$7,200	$3,960	$1,980	—
混合ダブルス	$10,980	$7,200	$3,960	$1,980	—



オフィシャル

YONEX OPEN JAPAN 2001
BADMINTON CHAMPIONSHIPS TOURNAMENT OFFICERS

YONEX OPEN JAPAN 2001
BADMINTON CHAMPIONSHIPS
TOURNAMENT OFFICERS

大会役員

●大会会長　PRESIDENT
桜内　義雄　Yoshio Sakurauchi
●大会名誉顧問
米山　稔　Minoru Yoneyama
●大会副会長
綿貫　民輔　Tamisuke Watanuki
清水　務　Tsutomu Shimizu
三宅　祐司　Yuji Miyake
米山　宏作　Kosaku Yoneyama
●大会顧問
佐々木洋平　愛知　和男　吉川　芳男　岩崎　純三
沓掛　哲男　森　喜朗　林　義郎　関谷　勝嗣
森田　一　久間　章生　石渡　俊一　真藤　恒
奈良岡健三　玉手　庸　伊藤　基記　加藤　三夫
上田　敬治　杉田　安雄　長浦　音吉　宮澤　宏之
村上　忠治　八木橋伸夫　柿本　仁臣　佐藤　保
塩川　甫　橋本　角市　相場　清一　権田　正一
丸山　嘉久　安部　淳美　植田　博宣　原　二三雄
秋元　信一　平田登志郎　山口　開生　柳川　覚治
青木　昭二　池田　昌道　毛利　清志　川端　昇市
高橋　重夫　中島　寿藏　五十里光秋　内多小五郎
小宮　淳宏　吹田　修一　牧野　武　村山　幸雄
戸田　清一　浜中　誠　根岡　幸一　武田　昭二
宮永　武司　花岡　牧夫　根岸　知子
●大会参与
伊豆　晃　岡本　武利　本郷　節生　今北　基夫
菊地　利明　野村　嘉明　日高　壯　渡辺　成雄
伊藤　鑛一　小飼　栄一　里見　光徳　増田　保夫
山根　怜　佐藤　芳朗　小出沢　悟　木村　寛
北　義一　堺　三徳　岡村　英男　川島　一郎
富田　善明　板垣　隆房　星野　忠男　藤本　滋
藤原　和文　加藤　寛治　原　紀征　秋山　真男
地崎　昭宇　組村　明　福井　正康　清水　善一
鈴木　潔　増田　稔　山崎　博光　杉山　郁郎
前田　耕作　三須　得司　荻田　貫　佐賀　武兵
関　敏夫　小林　健二　太田　耕貴　森谷喜久男
高橋　秀夫　栗田　光憲
●大会委員長　CHAIRMAN
遠井　稔男　Toshio Toi
●大会副委員長　VICE CHAIRMAN
米山　勉　Ben Yoneyama　浅岡　武　Takeshi Asaoka
●大会委員
岩崎　昭郎　上原　信彦　加藤　博司　神沢　暁
工藤　勇参　佐藤　武人　鈴木　勝之　関根　義雄
高橋　英夫　竹林　克彦　寺崎　由雄　西野　昌朗
山田順一郎　油井　秀男　福田　武　清水規矩雄
高橋　重夫　千葉　健夫　兒嶋　昇　今来　サキ
小川　弘　池田　公子　小林　正人　彌永　正信
石田　純　柴田　匡史　殿川　宣勝　近岡　昭
石森　敏男　宮路　秀憲　水上　英二　稲石　一雄
高橋　英治　吉村　節彦　藤川　俊雄　佐藤　隆

国際バドミントン連盟役員　INTERNATIONAL BADMINTON FEDERATION

●PRESIDENT
Mme.Lu Shengrong CHINA
●IMMEDIATE　PAST−PRESIDENT
Arthur E.Jones ENGLAND
●VICE−PRESIDENT
Tom Bacher DENMARK
Punch Gunalan MALAYSIA
Roger Johansson SWEDEN
Jeffrey E.Robson NEW ZEALAND
James Sekajugo UGANDA
Justian Suhandinata INDONESIA
Charoen Wattanasin THAILAND
●MEMBERS OF COUNCIL
Edgar Aglipay PHILIPPINES
Martijn Van Dooremalen NETHERLANDS
Raj Gaya MAURITIUS
Puzant Kassabian BULGARIA
Rudy Hartono Kurniawan INDONESIA
Kim Hak Suk KOREA
Dr.Mya Lay Sein MYANMAR
Mrs.Heather Nielsen ENGLAND
Paisan Rangsikitpho USA
Mario A Tiburcio MEXICO
Eraj Wijesinghe SRILANKA
Yang Shu'an CHINA
●CONTINTAL REPRESENTAIVES
Cedric A.Baxter OCEANIA BADMINTON CONFEDERATION
Torsten Berg EUROPEAN BADMINTON UNION
Hiranmay Ray AFRICA BADMINTON FEDERATION
Tong Wailun ASIAN BADMINTON CONFEDERATION
Federico E.Valdez PAN AMERICAN BADMINTON CONFEDERATION
●EXECUTIVE DIRECTOR
David Shaw ENGLAND

大会運営委員　TOURNAMENT COMMITTEES

●大会委員長　CHAIRMAN
遠井　稔男　Toshio Toi
●大会副委員長　VICE CHAIRMAN
米山　勉　Ben Yoneyama　浅岡　武　Takeshi Asaoka
●委員　STAFF MEMBERS
上原　信彦　Nobuhiko Uehara　関根　義雄　Yoshio Sekine
山田順一郎　Junichiro Yamada　千葉　健夫　Tateo Chiba
大仲　辰秀　Tatsuhide Ohnaka　土田　隆史　Takashi Tsuchida
●レフェリー　REFEREE
フランシス・ショウ　Francis Siow MALAYSIA
●ディプティレフェリー　DEPUTY REFEREE
高橋　英夫　Hideo Takahashi　山田順一郎　Junichiro Yamada
●ドーピングコミティ　DOPING COMMITTEES
小林　總介　Sosuke Kobayashi
来栖　博　Hiroshi Kurusu　高田　寿　Hisashi Takada
遠井　健司　Kenji Toi　茂呂由起子　Yukiko Moro
根本有紀子　Yukiko Nemoto　阿久津郁夫　Ikuo Akutsu

●プレーヤーズセクレタリー　PLAYERS' SECRETARY
兒嶋　昇　Noboru Kojima　ウッドワード悦子　Etsuko Woodward
成田　三生　Mitsuo Narita　白井　巧　Takumi Shirai
●スポンサー窓口　SPONSORS' REPRESENTATIVES
土田　隆史　Takashi Tsuchida　松村雄太郎　Yutaro Matsumura

実行委員会競技役員

●総括　千葉　健夫
●副総括
宮永　武司　武田　昭二　根岸　知子　花岡　牧夫
●総括担当
兒嶋　昇　今来　サキ
●総務担当
小川　弘　池田　公子
●総務
浜口　登　露木　博保　奥村　優　宮本　容子
川杉　通昌　関根　忠　橋口　誠　細江　政雄
竹内ヒロ子　小松加代子　大井　節子　千脇　静江
谷村　典子　佐々木洋子　岡戸　優子　渥美　葵
森　麗子　三田　恵子　高田　知子　久保田千鶴
西野　仁子　佐野　玲子　宮川　典子　渡辺瑠美子
沼尻美江子　谷垣ゆう子　矢野　節子　国府田春美
宮崎美江子　久家富美子　宮本　正子　渡辺　博美
米口　順子　佐藤　利子　小守　一枝　清水ゆかり
宮本　道雄　増田　英男　大西喜美子　笛田　英男
海野　勝治　森　泉　平林　哲郎　川口　浩
●財務担当
今来　サキ　藤川　俊雄　佐藤　隆　大平　ひさ
鈴木真知子　管家佐智子　神　千恵美
●広報担当
石田　純
●広報
青木　紀恵　鮑　智行　楠田　民子
●競技担当
殿川　宣勝　小林　正人　近岡　昭　石森　敏男
彌永　正信
●競技
稲村　昇　山中　達雄　鏑木　興司　菅原　幸雄
麻生　了輔　簗　栄三　山田ミヨ子　大友　龍三
久保田忠宣　賀田久實子　森脇　善夫　堺　栄一
宇田川　孝　石森　泰司　北田　清孝　今井　茂満
目黒　仁一　横山　登　石川　孝　多田　晃一
柴田　博樹　吉田　繁　仲川　敏幸　加藤　浩之
若林　孝子　高橋　由美　草彅　知也　山崎　清一
笈川美詠子　向　紀代美　福嶋　和子　萩原　康雄
石塚ミヨ子　内田　淳吉　大野　憲弘　佐野　浩一
久保田　剛　落合　久夫　河内　準治　武内　彰
伊藤　愛娘　島　朝樹　飯川　寿行　増田　省三
●選手担当
兒嶋　昇　高橋　英治　柴田　匡史
●選手係
木内　信吾　Janet 清水　岡本　圭子　横山　朋子
勝尾恵理子　藤井　弓子
●場内放送　ウッドワード悦子
●医師
小林　總介　来栖　博
●看護婦
小野寺明恵　高田　純子
●審判担当
宮路　秀憲　水上　英二　稲石　一雄
●国際審判
山田順一郎　高橋　英夫　三王　知治　遠井　努
蔵口　勇雄　今井　正男　斉藤　篤司　上田　敏之
浜中　勉　小島　博幸　野々口栄二　細谷みゆき
辻中　孝彦　笠原　英知
●審判
石井三千男　蓮見　正広　祐成　常久　渋谷　聡
横田　猛　山田　順子　森下美佳子　関場　武
村上　育子　多紀ゆき子　蒙　佳世子　大倉　誠子
佐藤千佳子　阿部　房子　伊藤ちはる　梅村美津枝
結城　敬子　三住登喜子　糸井　裕子　近藤ケイ子
八谷みずえ　野村　悟　野村　一恵　中込　治
金内　正文　野村チエ子　山田　律子　菅野　英美
小沢　典子　日野　秀子　高木　実　高橋喜代子
戸島　栄子　小川　誠一　水島　直枝　富田　英子
谷　恒子　柿沢　豊　藤井　晃　鈴木　忍
菱沼　由恵　横田美江子　小野美奈子　吉田スミコ
石川美恵子　大賀　和子　仙波ケイ子　清水　純子
浜名　容子　酒井喜久子　関城　聖子　野津山恵美子
赤川　正子　橋本ミサ子　崎山　行子　福島　宏美
益頭　和雄　岡田　時彦　荒谷　勝造　荒谷　文枝
鈴木　洋子　鶴田　雅子　近藤志津子　諏訪　洋子
川田　恵　重松　康子　高橋　直子　横山美恵子
大村　政子　飯野　洋子　中川　敬子　松尾　元子
田辺　麗子　新田　恵子　長谷川ひろ子　小田島慶子
松永　綾子　村本ひろみ　矢野　かよ　福田　弥生
田嶋　初江　木村さつき　西山　智音　本吉　裕子
打越　智子　平山　四郎　成田　賢志　伊草　幸子
岡島ちり子　宮田　富子　平原　真澄　井上　裕子
高橋　公子　駒宮　浩子　大木千代子　岩崎　厚子
鈴木八重子　米山千鶴子　小林　清美　石田ひろ子
相沢きさ子　古市　貞子　山中恵美子　中條　博美
石橋フミ子　美川　久子　早川冨美代　井上　智子
太田　四郎　飛世　康子　草刈　学　関　昭
千葉　政行　滝沢　香代　乾　よし子　小泉　和子
米田ちゑ子　小池千恵子　塩澤はるみ　藤田　法子
石橋　浩子　山川　和子　竹内富美枝　塚原美津子
高田　昌彦　中野　正一　鳥越　俊秀　香取由美子
工藤　公子　宮澤　裕美　斉郷　秀一　鈴木　恒雄
三宅　朝子　佐々木淳子　加瀬　恵　有村　恵子
森田　洋子　沼田　昭子　保田　秀行　福田　栄記
田口　葉月　秋元みや子　上野　幸吉　中村　三男
楯地　正秀　児玉　美和　中村　和男　浜口　登
青木　康敏　相澤　武子　仁藤　絹子　石坂美代子
木村　和美　小野　園枝　小川　絹枝　丸茂みどり
森田　孝子　伏見　京子　横田　和長　藤井　弘行
山田　藤彦　鈴木　文男　原　正人

THE WINNERS
ヨネックスオープンジャパン歴代優勝者
1982～2000

1982

MS	Thomas Kihlstrom	T.キールストローム	Sweden
LS	Li Lingwei	李玲蔚	China
MD	Kartono	カルトノ	Indonesia
	R.Heryanto	R.ヘリヤント	
LD	Nora Perry	N.ペリー	England
	Jane Webster	J.ウェブスター	
MIX	Michael Tredgett	M.トレジェット	England
	Nora Perry	N.ペリー	

1983

MS	Han Jian	韓　健	China
LS	Han Aiping	韓愛平	China
MD	Thomas Kihlstrom	T.キールストローム	Sweden
	Stefan Karlsson	S.カールソン	
LD	Gillian Gilks	G.ギルクス	England
	Gillian Clark	G.クラーク	
MIX	Thomas Kihlstrom	T.キールストローム	Sweden
	Nora Perry	N.ペリー	England

1984

MS	Morten Frost	M.フロスト	Denmark
LS	Zheng Yuli	鄭昱鯉	China
MD	Thomas Kihlstrom	T.キールストローム	Sweden
	Stefan Karlsson	S.カールソン	
LD	Karen Beckman	K.ベックマン	England
	Gillian Gilks	G.ギルクス	
MIX	Martin Dew	M.デュー	England
	Gillian Gilks	G.ギルクス	

1985

MS	Zhao Jianhua	趙剣華	China
LS	Wu Jianqiu	呉建秋	China
MD	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Kim Moon Soo	金文秀	
LD	Kim Yun Ja	金綸子	Korea
	Yoo Sang Hee	柳尚希	
MIX	Billy Gilliland	B.ギリランド	Scotland
	Gillian Gowers	G.ゴワーズ	England

1986

MS	Yang Yang	楊　陽	China
LS	Li Lingwei	李玲蔚	China
MD	Razif Sidek	R.シデク	Malaysia
	Jalani Sidek	J.シデク	
LD	Wu Dixi	呉迪西	China
	Lin Ying	林　瑛	
MIX	Billy Gilliland	B.ギリランド	Scotland
	Nora Perry	N.ペリー	England

1987

MS	Xiong Guobao	熊国宝	China
LS	Li Lingwei	李玲蔚	China
MD	Liem Swie King	リム・スイ・キン	Indonesia
	Eddy Hartono	E.ハルトノ	
LD	Lin Ying	林　瑛	China
	Guan Weizhen	関渭貞	
MIX	Lee Deuck Choon	李得春	Korea
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1988

MS	Nick Yates	N.イエーツ	England
LS	Han Aiping	韓愛平	China
MD	Tian Bingyi	田秉毅	China
	Li Yongbo	李永波	
LD	Chung Myung Hee	鄭明熙	Korea
	Chung So Young	鄭素英	
MIX	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1989

MS	Yang Yang	楊　陽	China
LS	Li Lingwei	李玲蔚	China
MD	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Lee Song Bok	李相福	
LD	Gillian Clark	G.クラーク	England
	Jilie Mundy	J.ムンディー	
MIX	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1990

MS	Morten Frost	M.フロスト	Denmark
LS	Huang Hua	黄　華	China
MD	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Kim Moon Soo	金文秀	
LD	Yao Fen	姚　芬	China
	Lai Caiqin	頼彩勤	
MIX	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1991

MS	Ardy.B.Wiranata	A.B.ウィラナタ	Indonesia
LS	Huang Hua	黄　華	China
MD	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Kim Moon Soo	金文秀	
LD	Gillian Clark	G.クラーク	England
	Gillian Gowers	G.ゴワーズ	
MIX	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1992

MS	Ardy.B.Wiranata	A.B.ウィラナタ	Indonesia
LS	Susi Susanti	S.スサンティ	Indonesia
MD	Chen Kang	陳　康	China
	Chen Hongyong	陳紅勇	
LD	Hwang Hye Young	黄恵英	Korea
	Chung So Young	鄭素英	
MIX	Thomas Lund	T.ルンド	Denmark
	Pemille Dupont	P.デュポン	

1993

MS	Haryanto Arbi	H.アルビ	Indonesia
LS	Ye Zhaoying	葉釗穎	China
MD	Chen Kang	陳　康	China
	Chen Hongyong	陳紅勇	
LD	Chung So Young	鄭素英	Korea
	Gil Young Ah	吉永雅	
MIX	Thomas Lund	T.ルンド	Denmark
	Catrine Bengtsson	C.ベントソン	Sweden

1994

MS	Ardy.B.Wiranata	A.B.ウィラナタ	Indonesia
LS	Susi Susanti	S.スサンティ	Indonesia
MD	Ricky Subagdja	R.スバグジャ	Indonesia
	Deny Kantono	D.カントノ	
LD	Chung So Young	鄭素英	Korea
	Gil Young Ah	吉永雅	
MIX	Jon Holst-Christensen	J.ホルストクリステンセン	Denmark
	Catrine Bengtsson	C.ベントソン	Sweden

1995

MS	Haryanto Arbi	H.アルビ	Indonesia
LS	Susi Susanti	S.スサンティ	Indonesia
MD	Ricky Subagdja	R.スバグジャ	Indonesia
	Rexy Mainaky	R.マイナキー	
LD	Ge Fei	葛　菲	China
	Gu Jun	顧　俊	
MIX	Thomas Lund	T.ルンド	Denmark
	Marlene Thomsen	M.トムセン	

1996

MS	Joko Suprianto	J.スプリアント	Indonesia
LS	Ye Zhaoying	葉釗穎	China
MD	Ricky Subagdja	R.スバグジャ	Indonesia
	Rexy Mainaky	R.マイナキー	
LD	Gil Young Ah	吉永雅	Korea
	Jang Hye Ock	張恵玉	
MIX	Park Joo Bong	朴柱奉	Korea
	Ra Kyung Min	羅景民	

1997

MS	Peter Rasmussen	P.ラスムセン	Denmark
LS	Mia Audina	M.アウディナ	Indonesia
MD	Ricky Subagdja	R.スバグジャ	Indonesia
	Rexy Mainaky	R.マイナキー	
LD	Ge Fei	葛　菲	China
	Gu Jun	顧　俊	
MIX	Liu Yong	劉　永	China
	Ge Fei	葛　菲	

1998

MS	Peter Gade Christensen	P.G.クリステンセン	Denmark
LS	Gong Zhichao	龔智超	China
MD	Cheah Soon Kit	チー・スーンキット	Malaysia
	Yap Kim Hock	ヤップ・キムホック	
LD	Ge Fei	葛　菲	China
	Gu Jun	顧　俊	
MIX	Kim Dong Moon	金東文	Korea
	Ra Kyung Min	羅景民	

1999

MS	Peter Gade Christensen	P.G.クリステンセン	Denmark
LS	Ye Zhaoying	葉釗穎	China
MD	Ha Tae Kwon	河泰権	Korea
	Kim Dong Moon	金東文	
LD	Ge Fei	葛　菲	China
	Gu Jun	顧　俊	
MIX	Liu Yong	劉　永	China
	Ge Fei	葛　菲	

2000

MS	Ji Xinpeng	吉新鵬	China
LS	Gong Zhichao	龔智超	China
MD	Candra Wijaya	C.ウィジャヤ	Indonesia
	Tony Gunawan	T.グナワン	
LD	Huang Nanyan	黄楠雁	China
	Yang Wei	楊　維	
MIX	Liu Yong	劉　永	China
	Ge Fei	葛　菲	

MS=MEN'S SINGLES LS=LADIES' SINGLES MD=MEN'S DOUBLES LD=LADIES' DOUBLES MIX=MIXED DOUBLES

注目日本選手紹介

KEITA MASUDA
舛田圭太(左)
1979年2月27日生まれ　石川県出身　174cm 70kg　右利き
トナミ運輸　趣味・テレビゲーム

TADASHI OHTSUKA
大東忠司
1978年4月30日生まれ　長崎県出身　168cm 62kg　右利き
トナミ運輸　趣味・カラオケ
主な成績='98〜'00全日本学生優勝、'98'99全日本総合優勝、'00フランス国際OP優勝、全日本総合2位、'01韓国OP16強、全英OP16強、スイスOP8強　ワールドランキング男子複41位

全日本総合は決勝で敗れたが、誰もが認める日本のエース。舛田はシドニー五輪にシングルスで出場したが、アテネはダブルスで出場をめざすと宣言。1月の韓国オープンには大東とともに参戦し、銀メダリストの李東秀/柳鏞成（韓国）にファイナル勝負を演じた。課題であるディフェンス力が磨かれれば、攻撃型の舛田と前で球をさばく大東のコンビネーションが冴えるはず。期待が高まる代々木ではベスト8以上をねらいたい。





シドニー五輪では、日本でもっともメダルに近い存在と目されていたが、3回戦で中国の戴鎧にストレートで敗退。帰国後は「バドミントンに一区切りつけようと思っていた」が、悔しさから現役を続行することを決意した。今大会では龔智超、戴鎧ら、強豪の不参加で、上位進出のチャンスは広がっている。速い読みとクレバーな配球術で、若手中国勢のスピードに対抗できれば、表彰台に立つ可能性は十分だ。

KANAKO YONEKURA
米倉加奈子
1976年10月29日生まれ　東京都出身　165cm 55kg　右利き
趣味・音楽鑑賞
主な成績='98アジア大会優勝、'99スイスOP3位、シンガポールOP3位、全日本社会人優勝、'00韓国OP2位、台湾OP8強、スウェーデンOP優勝、インドネシアOP8強、タイOP8強、シドニー五輪16強、全日本総合優勝、'01韓国OP8強　ワールドランキング女子単11位



HIDETAKA YAMADA
山田英孝

1977年6月22日生まれ　兵庫県出身
177cm 63kg　右利き　日本ユニシス
主な成績＝'96全日本学生優勝、'99オークランド国際優勝、ルーマニアOP優勝、'00ペルー国際2位、チリ国際8強、シドニー五輪出場、オランダOP8強、ワールドランキング男子単44位
99年8月より、シドニー五輪出場権を獲得するため世界を転戦。本番ではインドネシアのタウフィック・ヒダヤットにぶつかり1回戦で散ったが、大舞台での経験は山田を大きく成長させた。ケガに何度も泣いているのも事実だが、好機をつかむまでつなぐ我慢も覚えている。進化を遂げた男子シングルスのエースに注目である。



1

1

MEGUMI ONIIKE 鬼池めぐみ(左)
1976年6月18日生まれ　大阪府出身　165cm 51kg　右利き　三洋電機　趣味・のんびりすること

KAORI MORI 森かおり
1979年8月23日生まれ　福岡県出身　157cm　右利き　三洋電機　趣味・映画鑑賞
主な成績＝'99全日本総合3位、'00オランダOP3位、全日本社会人優勝、全日本総合8強、'01スイスOP3位 ワールドランキング女子複26位
全日本社会人で全国初制覇。4度めの海外遠征になったスイスオープンでは3位になり、ワールドランカーへの仲間入りを果たした。前衛で鬼池がゲームをつくり、うしろから森がスマッシュ。しのぐだけでなく、攻撃力にも磨きをかけて、世界をめざす。ここ代々木では上位入賞で存在をアピールしたい。

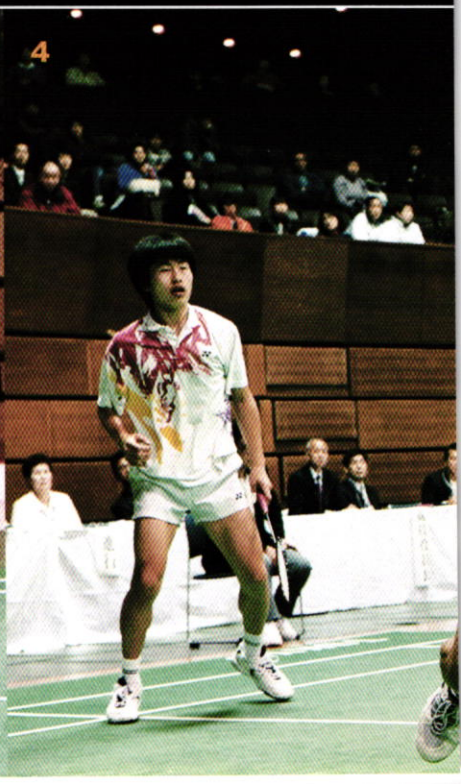
2

NORIO IMAI 今井紀夫
1972年11月25日生まれ　富山県出身　178cm 73kg　右利き　トナミ運輸　趣味・映画鑑賞

CHIKAKO NAKAYAMA 中山智香子
1975年8月30日生まれ　北海道出身　157cm 53kg　左利き　三洋電機　趣味・音楽鑑賞
主な成績＝'00ヨネックスOPジャパン16強、全日本社会人優勝、全日本総合優勝　ワールドランキング混合複74位
2000年の社会人、総合のチャンピオン。「本職」のダブルスでもそれぞれ上位で活躍しているが、いまや混合ダブルスで日本の第一人者に定着した。年齢はともに20代後半になるが、やる気は十分。今井のコートカバー力と中山の巧みな前衛が勝利のカギだ。シドニー五輪でもっとも番狂わせの多かったこの種目でアテネをめざす。



2



4





3

TAKUYA KATAYAMA 片山卓哉(奥)

1972年2月23日生まれ　静岡県出身　175cm 68kg　右利き　ＮＴＴ東日本　趣味・ドライブ

YUZO KUBOTA 久保田雄三

1971年8月3日生まれ　静岡県出身　172cm 68kg　右利き　ＮＴＴ東日本　趣味・サウナ

主な成績＝'94 '00全日本社会人優勝、'96 '00全日本総合優勝、'00スウェーデンOP 8強、フランス国際OP 2位、ポーランドＯＰ 8強　ワールドランキング男子複42位

全日本総合で2度めの栄誉をつかんだ熟練ペア。シドニー五輪出場の夢こそ破れたが、堅いディフェンスと息の合ったコンビネーションで舛田／大束の3連覇を阻んだ。ともに29歳。年齢的にはベテランの域に達したが、いまも勝利への執念を絶やさない。緻密に計算されたプレーをぜひ見てほしい。

4

SHOJI SATO 佐藤翔治(右)

1982年9月19日生まれ 東京都出身　168cm 55kg　右利き 富士短大

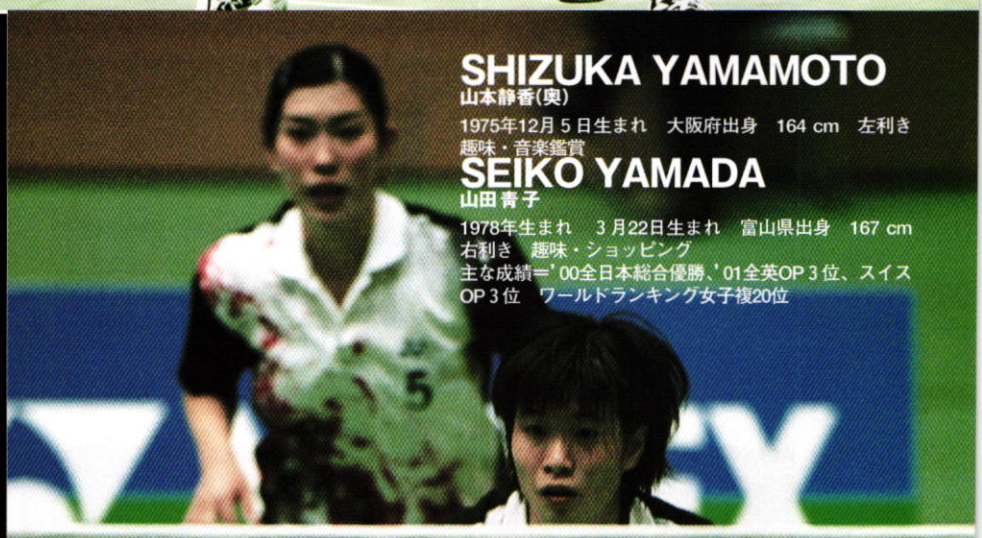
SHO SASAKI 佐々木翔

1982年6月30日生まれ 北海道出身 170cm 63kg　左利き　富士短大

主な成績＝'00インターハイ優勝、全日本総合 8強、'01イラン国際OP優勝、キューバ国際OP優勝

舛田世代のちょうどひとつ下、もっとも勢いがあるのが佐藤／佐々木だ。もちろんアテネのホープで、イラン国際では日本人高校生として初めて海外トーナメントを制している。3月のキューバ国際でも優勝、シングルスでは同国決戦を行なった。無限の可能性を秘めた18歳が、地元の利をどこまで生かせるか。





SHIZUKA YAMAMOTO
山本静香(奥)

1975年12月5日生まれ　大阪府出身　164 cm　左利き　趣味・音楽鑑賞

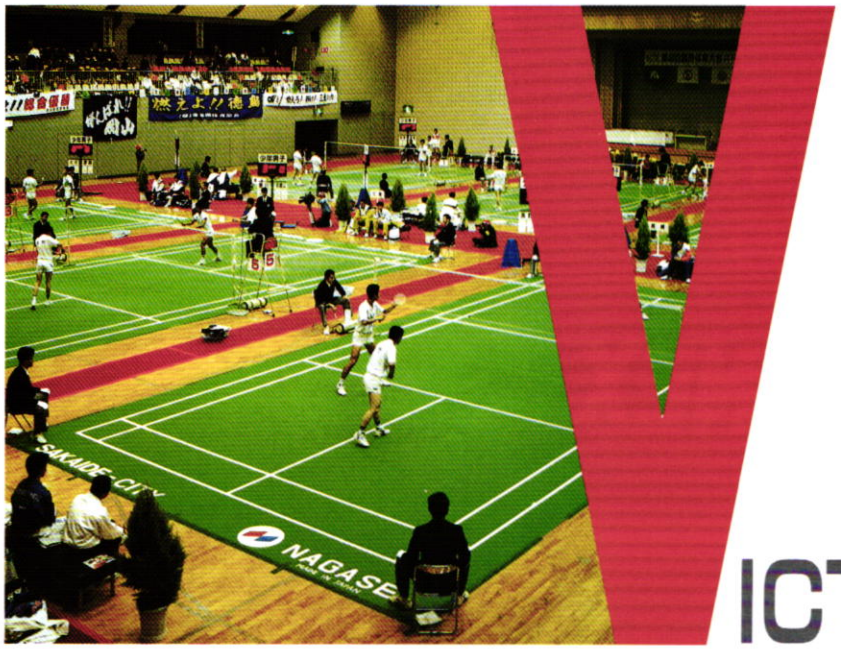
SEIKO YAMADA
山田青子

1978年生まれ　3月22日生まれ　富山県出身　167 cm　右利き　趣味・ショッピング

主な成績＝'00全日本総合優勝、'01全英OP 3位、スイスOP 3位　ワールドランキング女子複20位



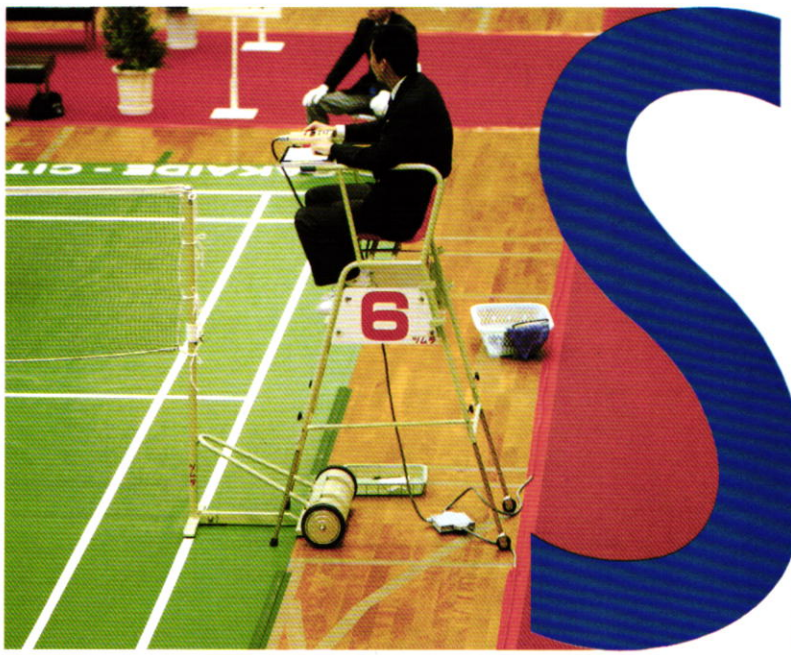
所属チームの休部など、逆境に巻き込まれながらも確実にステップアップを遂げている。全日本総合で王位をつかんだあとも、全英オープン、スイスオープンでベスト4入り。しぶとく守りきり、攻撃につなぐことができれば、地元入賞も夢ではない。山田には舛田との混合ダブルスでも期待がかかる。



VICTORY

Vへのサポート

ひたすら重ねたトレーニング、ひたむきなまでの情熱、夢にまで見たコートに立つ自分の姿……。躍動するパワー、瞬間にかけた技術、フレキシブルな攻守が展開される、競技にかける選手のための施設でありたい。



SUPPORT

国際バドミントン連盟(IBF)公認ポスト〔B-321〕

日本バドミントン協会検定工場

ツムラ

本　社／〒766-0004
香川県仲多度郡琴平町榎井590
TEL0877-73-2251㈹ FAX0877-73-2084

東京支店／〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1-7-9　三梨マンション1F
TEL03-3208-1505　FAX03-3208-1535

㈱ツムラ札幌／〒064-0919
札幌市中央区南19条西12-1-2 アイビス壱番館1F
TEL011-551-2662　FAX011-551-2672

株式会社 都材製作所

シドニー五輪戦績

●男子シングルス
金　吉新鵬(中国)
銀　ヘンドラワン(インドネシア)
銅　夏煊澤(中国)
1回戦　舛田圭太、山田英孝(日本)
●女子シングルス
金　龔智超(中国)
銀　カミラ・マーチン(デンマーク)
銅　葉釗穎(中国)
5位　水井泰子(日本)
16強　米倉加奈子(日本)
1回戦　井田貴子(日本)
●男子ダブルス
金　チャンドラ　トニー(インドネシア)
銀　李東秀　柳錫成(韓国)
銅　河泰権　金東文(韓国)
●女子ダブルス
金　葛菲　顧俊(中国)
銀　黄楠雁　楊維(中国)
銅　秦芸源　高凌(中国)
16強　岩田良子　松田治子(日本)
1回戦　井川里美　永峰弘子(日本)
●混合ダブルス
金　張軍　高凌(中国)
銀　クシャリアント　ティムール(インドネシア)
銅　アーチャー　グード(イングランド)



↑バドミントン史に残る偉業を達成したのは、女子ダブルスの葛菲(右)／顧俊(中国)。昨年、ヨネックスOPジャパンで敗れた後輩の黄楠雁／楊維に雪辱し、アトランタに続く2個目の金メダルを手に入れた。シドニー帰国後は国際大会からの引退を表明し、惜しまれながら舞台を去っている　©AP
←男子シングルスを制したのはダークホース吉新鵬(中国)。昨年のヨネックスOPジャパンでトーナメント初優勝したときは"粗削り"だったが半年で急成長、決勝でベテラン・ヘンドラワンをストレートで下し、表彰台の一番高い場所に立った。現在、23歳。アテネ五輪も十分ねらえる年齢である　©AP
↓中国旋風が吹き荒れるなか、唯一、意地を示したのがインドネシアのチャンドラ(左)／トニー。インドネシアからのバドミントンファンで埋めつくされた準決勝、決勝では、同じくダブルス王国の誇りを持つ韓国を連破し、熱烈フリークを満足させた。チャンドラはかつてのパートナー・シギットと組み、再スタートを切っている　©AP

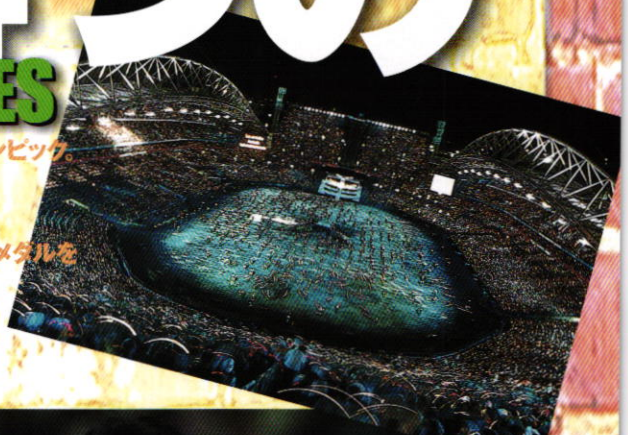


シドニー五輪回顧

中国に4つの金！

2000 SYDNEY OLYMPIC GEMES

4年に一度のスポーツの祭典・オリンピック。
20世紀最後の年、シドニーで
展開された熱戦は、
男子ダブルス以外、中国が4つの金メダルを
獲得し幕を閉じた。
ここでは写真で歓喜の
シーンをじっくり振り返ってみよう。

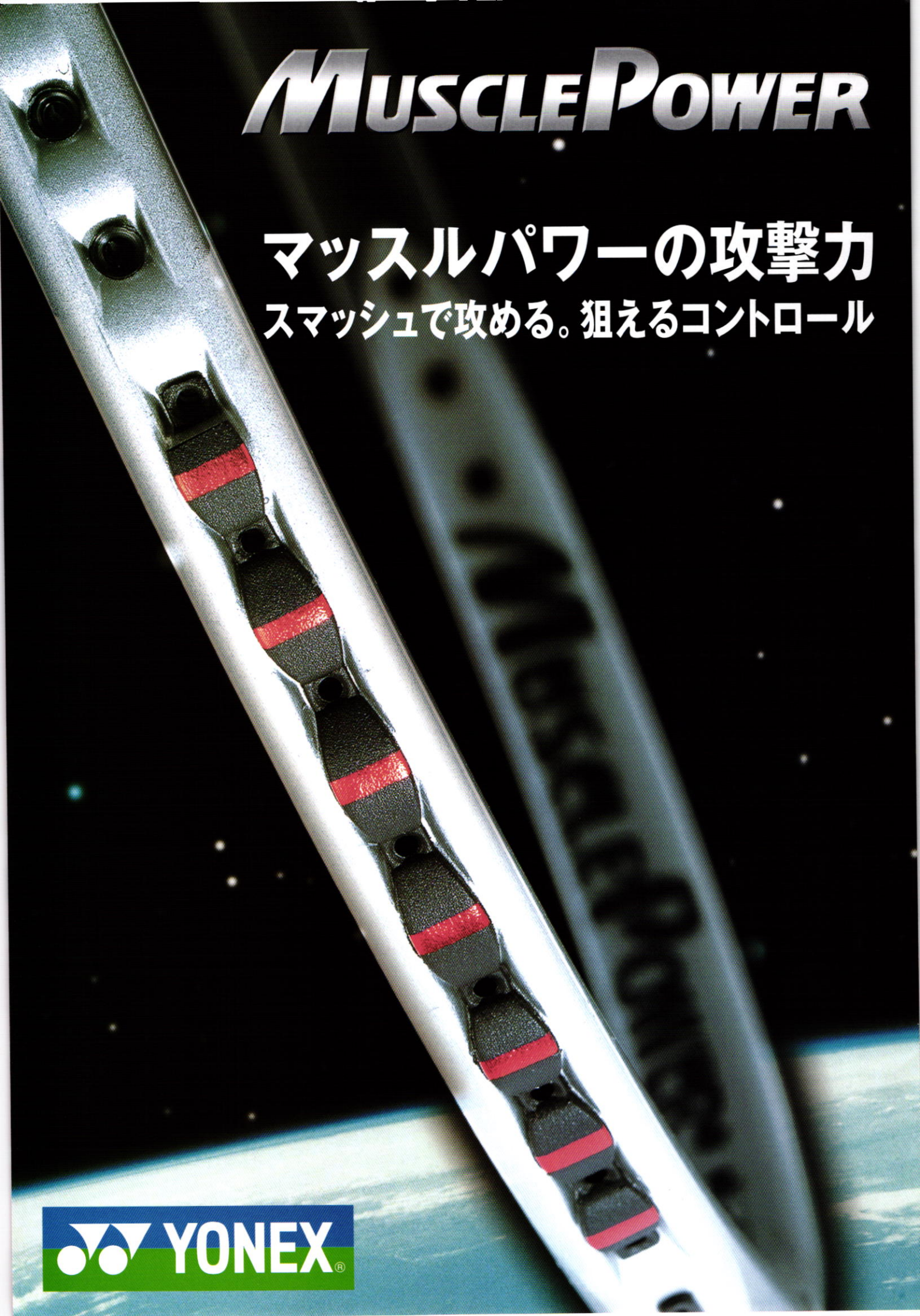






©JMPA

→中国の劉永／葛菲、韓国の金東文／羅景民ら、本命が相次ぎ敗れる波乱のあった混合ダブルスで頂点に立ったのは張軍(左)／高凌(中国)。決勝では金メダルにほぼ王手をかけたインドネシアのクシャリアント／ティムールに劇的なアップセットを演じた。第7シードからつかんだ栄冠だった　©AP
←決して体に恵まれているとはいえない中国の龔智超が、長身の葉釗穎(中国)、カミラ・マーチン(デンマーク)を撃破し優勝。準決勝で対戦した葉には13回対戦しようち、2度しか勝ったことがなかったが、広いコートカバーリで葉の攻撃力を封じた。決勝でもマーチンに1ゲーム5-9から逆転する辛抱強さを見せつけている　©AP


MUSCLE POWER
マッスルパワーの攻撃力
スマッシュで攻める。狙えるコントロール
YONEX®

MUSCLE POWER

＜マッスルパワー効果＞
■フレームとストリングが一体化し、そう快なスマッシュを実現。
■常に快適な打球感が得られ、ヒジに優しい。
■ストリングが緩まず、張り上げ直後の反発性、衝撃吸収性が持続。

最新のテクノロジーで実現。反発性5%アップ 面安定性17%アップ



21世紀の構造革命。「マッスルパワーフレーム」

マッスルパワーフレームはフレームとストリングの接面を半円状に盛り上げることで、密着度を極限まで高め、一体化するよう設計した世界最新のテクノロジーです。これまで打球時にエネルギーロスしていたパワーをダイレクトにシャトルに伝え、スピードプレイを生みます。

マッスルパワーの特徴として、ストリングの精度が挙げられます。当社テストでは実際にストリングマシンを使い、同じ20ポンドで引っ張った場合を比較すると、マッスルパワーフレームは19ポンド、一般のラケットの場合は17.9ポンドの測定値となりました。

一般のラケットはグロメットの角部分の摩擦抵抗が大きく、このためテンションロスが生じ、実際に引張った数値より低くなります。これまでは、その抵抗分を考慮して強めに張る必要がありました。つまり、十分に引っ張りきれず力のロスを生じていましたが、マッスルパワーはそれを解消したのです。

マッスルパワーフレームはストリングとラケットを密着させることで、高い精度が得られ、結果的に高い面圧となります。また、ストリングが均一に引っ張られるため、緩みが少なく、心地良い打球感や反発性能が長時間持続します。



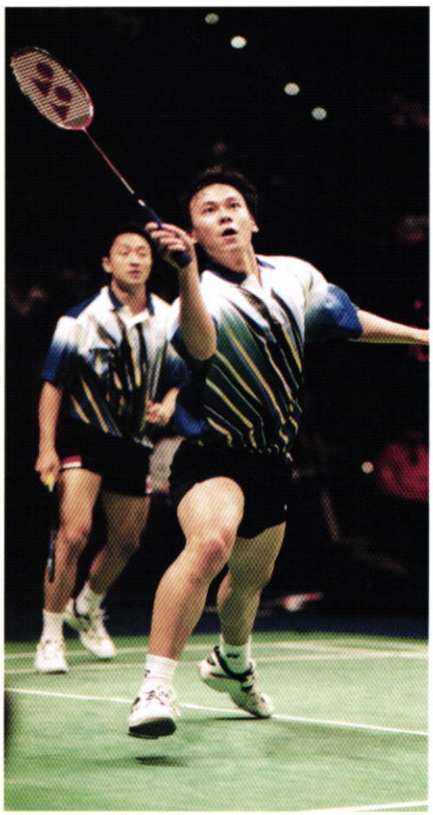
面安定性17%アップ、コントロールプレーヤーに最適。

新マッスルパワーフレームがフレーム強度をアップさせ、かつストリングとフレームの密着度を高めた結果、反発力が5%アップ。また、ねじれ剛性も高まるため面がブレず抜群のコントロール性を実現。



精度の高い張り上げと高反発を実現。

マッスルパワーフレームのラケットと一般のラケットを同じ力（20ポンド）で引張りテンションロスを検証。一般のラケットは摩擦抵抗が大きいのため、大きくロスするがマッスルパワーは精度の高い張り上げを可能にしました。



トニー・グナワン（インドネシア）
2001ヨネックス全英選手権複優勝
マッスルパワー100使用

「マッスルパワーは弾きが良い。激しいドライブの応酬でも、しっかりと狙い通りに打てる。微妙なコントロールが得られるので、ゲームがコントロールできる。」



MUSCLE POWER 100

マッスルパワー100　MP-100
¥25,000　フレーム（ソフトケース付）

素材／超高弾性カーボンフレーム+チタンメッシュ
高弾性カーボンシャフト+アルティマムチタン
サイズ／3U4・5、2U4・5
適正張力／3U縦17～20　横19～22
2U縦18～21　横20～23（ポンド）
最適ストリング／ハードヒッター　強チタン（BG65TI）
コントロールプレーヤー　飛チタン（BG68TI）
カラー／レッド



MUSCLE POWER 70

マッスルパワー70　MP-70
¥22,000　フレーム（ソフトケース付）

素材／高弾性カーボンフレーム
高弾性カーボンシャフト+アルティマムチタン
サイズ／3U4・5、2U4・5
適正張力／3U縦17～20、横19～22
2U縦18～21、横20～23（ポンド）
最適ストリング／ハードヒッター　攻チタン（BG75TI）
コントロールプレーヤー　技チタン（BG88TI）
カラー／シルバー

ITO PHYSIO-THERAPY &REHABILITATION

メディカル〈物理療法〉機器のパイオニアとして

最新の技術と長年蓄積されたノウハウを活かし、
病院用から家庭用まで幅広い治療器を開発。
多くのみなさまの健康づくりに役立ちたいと考えています。

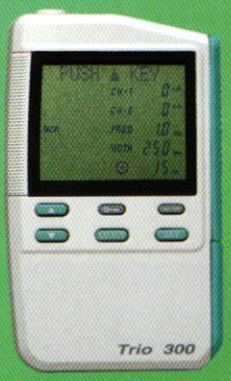
Line-up



〈1ヘッド2周波〉超音波治療器
イトーUS-700

- ■世界トップレベルのBNRとERAを実現
- ■1ヘッド2周波対応のプローブ採用
- ■5種類のパルス発振を搭載

医療用具承認番号　21000BZZ00133



多機能電気刺激装置
トリオ300

- ■TENS・筋肉刺激モード・マイクロカレントモードを手の平サイズに一体化
- ■プログラミング機能搭載
- ■メモリー機能搭載
- ■不揮発性メモリー使用

医療用具承認番号　20900BZZ00935



立体動態波治療器
ステレオダイネーター828

- ■立体（三次元）干渉波を採用
- ■脈流（ガルバニック・直流）モードを採用
- ■ジムモードを採用
- ■定電流と定電圧の選択可能

医療用具承認番号　（04B輸）第0233号

当社は品質管理の一環として、多くの世界的な規格を取得しています。

- ■ISO9001認証取得。品質システムが国際規格に適応している企業のみが取得。
- ■MDD、FDA、ULを取得。EU向け機器はMDD、米国向けはFDA及びULを取得。



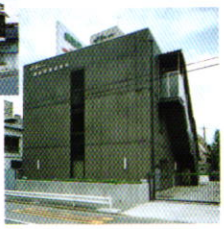
当社は大会期間中、選手のボディケアサービスを行なっています。

製造元　伊藤超短波株式会社
メディカル事業部

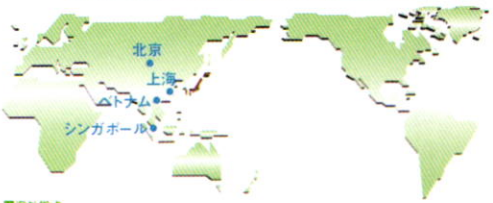
本社：〒113-0001 東京都文京区白山1-23-15
☎03(3812)1216(代)　FAX.03(3814)4587

営業所：
盛岡　☎019(634)1401　FAX.019(634)1341
仙台　☎022(244)8133　FAX.022(244)6212
東東京　☎03(3812)1217　FAX.03(3814)4587
西東京　☎03(3812)1218　FAX.03(3814)4587
名古屋　☎052(701)4515　FAX.052(701)6905
大阪　☎06(6691)1163　FAX.06(6692)1426
広島　☎082(506)1421　FAX.082(263)9070
福岡　☎092(573)6053　FAX.092(573)0218
デンタル部門　☎03(3812)4151　FAX.03(3814)4587


事業本部


総合技術研究所

7つの海を越えるITO



■海外拠点
シンガポール／中国／ベトナム

■海外取引国
- ●アジア：韓国／台湾／中国／香港／インドネシア／タイ／シンガポール／マレーシア／ベトナム／ロシア
- ●オセアニア：オーストラリア／ニュージーランド
- ●中近東：トルコ／エジプト／UAE／サウジアラビア／クウェート／ヨルダン／イラン
- ●ヨーロッパ：ノルウェー／スウェーデン／フィンランド／デンマーク／ドイツ／オランダ／オーストリア／ベルギー／フランス／スイス／イギリス／ポルトガル／スペイン／イタリー／ギリシャ／東欧諸国
- ●北米：カナダ／アメリカ
- ●その他：中南米／アフリカ

20周年記念大会 メモリアルグッズ
YONEX OPEN JAPAN 2001



Tシャツ ¥2,000

サイズ／S・M・L・O
カラー／ホワイト・ブラック・ライトオレンジ・イエロー・エメラルド・パープル・ローズピンク

毎年1番人気のTシャツ。「近未来」がテーマのシャープなデザインが今年の特徴です。



トレーナー ¥4,500

サイズ／S・M・L・O
カラー／ホワイト・ブラック・ブルー・ピンク

オールシーズン活躍するトレーナー。
軽量で吸汗速乾性に優れ、爽やかな着心地が持続します。



コインケース ¥700

サイズ／9×5×3cm
カラー／ピンク・ターコイズ

ラケットバッグをかたどったかわいらしいデザインです。キーホルダー感覚でバッグなどにつけてアクセントにしてみては。



Tシャツ ¥1,400

サイズ／S・M・L・O
カラー／ホワイト・ネイビーブルー・レッド・サックス

ヨネックスのロゴと2001が印象的なデザイン。
背面には20周年記念のロゴを施しました。



チビT ¥2,000

サイズ／フリー（レディース）
カラー／イエロー・ピンク・ネイビーブルー

ジャストサイズが女性に人気のチビTシャツ。
女性らしい3カラーを揃えました。



ミニタオルハンカチ ¥450

サイズ／23×23cm
カラー／サックス・イエロー・ピンク

ふんわり柔かな素材を使用し、肌触りの良いミニタオルハンカチ。吸水性に優れます。



ポロシャツ ¥6,000

サイズ／S・M・L・O
カラー／ネイビーブルー・チャコールグレー

ベーシックカラーと高級感のある刺しゅうがポイントのポロシャツ。抗菌防臭性と吸汗速乾性に優れ、機能性も充実。



ハーフパンツ ¥3,500

サイズ／S・M・L・O
カラー／ブラック・ライトサックス・ネオンオレンジ・ローズピンク

着心地の良さで人気のハーフパンツ。
新色が加わりより鮮やかなラインナップになりました。



スタッフバッグ ¥900

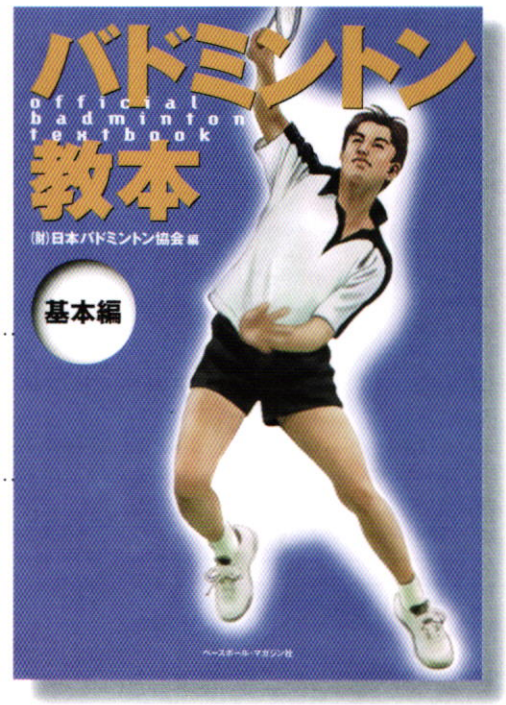
サイズ／42×30cm
カラー／ネイビーブルー・ピンク・ブルー

シューズや小物の整理に便利なきんちゃくタイプのスタッフバッグです。

選手・指導者必携！ 日本バドミントン協会、初の公式テキストブックが堂々完成！

バドミントン教本 基本編

この一冊があなたのプレーを変える！



(財)日本バドミントン協会 編
A5判／224ページ／定価（本体2,000円＋税）

初心者は、1から学べる「入門書」として、上級者は、プレーを見直す「参考書」として、あらゆるレベルに役立つ一冊。スキルアップに欠かせない「技術」と「トレーニング」の2部構成！

トレーニング編

バドミントンの技術／技術を解説するイラストの見方／ダブルスのレシーブ／スマッシュ／クリアー、カット、ドロップ／スピンネット／スマッシュ、カット、ドロップのレシーブ／クロスネット／ロビング／ドライブ／ハイバック／プッシュ／サービス／技術向上を目的とした練習

技術編

なぜトレーニングが必要か／自己の体力の特徴を知ろう／バドミントンにおけるトレーニング／競技力向上の具体的なトレーニング方法／競技に役立つコンディショニング

好評発売中！

official badminton textbook



グー・ジャーミンの STEP UPバドミントン ビデオ

VHS全2巻（各巻=60分、4,500円＋税）

全英オープンチャンピオンが
基本から戦術まで
技術向上のコツを伝授 ——

世界のトップレベルの指導がこのビデオで！
ジュニア、家庭婦人、社会人、すべてのバドミントン愛好者必見の技術トレーニングビデオ！

第1巻◎基本編　第2巻◎応用編

競技バドミントンの本質に迫る唯一の専門誌

Badminton MAGAZINE

バドミントン・マガジン

大会、レッスン、イベント、グッズ、ピープル、チーム…。ビギナーから上級者、指導者まで、すべてのニーズに応える日本でただひとつのバドミントン専門誌！

★毎月22日発売／定価720円
★年間購読料
1年間12冊分・8640円（税込）

宅配（着払い）のご注文は電話かFAXで
ベースボール・マガジン社ホームページ　http://www.bbm-japan.com

電話0257（80）1231　FAX0257（80）1232
ベースボール・マガジン社 受注センター　コレクト便係　※宅配料380円

SANYO

人と・地球が大好きです

マナーもいっしょに
携帯しましょう。

オーディオになる!

「ケータイdeミュージック」規格に準じた音楽ダウンロードサービス「Sound Market」に対応。お気に入りの音楽をダウンロード。オーディオとして楽しめます。



32MB セキュアマルチメディアカード同梱。



リモコンタイププレーヤー
RZ-RM1(S)
(別売)
オープン価格

デジカメになる!

気ままに撮って、その場から送る。専用のデジタルカメラユニットを使えば、写真メールも思いのままです。

別売フィールエッジ専用
小型カメラユニット対応





※写真の液晶画面はハメコミ合成です。

○明るい場所でもハッキリ見える「反射型2インチ大型カラー液晶」。
○メールが見やすい、つくりやすい「フルタイム文字ズーム機能」。
○強い電波を選んで受ける「空間ダイバシティアンテナ」。
○楽器に迫る着信音質「feelsound」。
○楽しいコンテンツサービス、Eメール「H"LINK」対応。



(L)ルミナスブルー (S)ピュアシルバー

ハイブリット携帯端末

Leje

RZ-J90

オープン価格

●オープン価格の商品はメーカー希望小売価格を定めていません。

KEITAI de MUSIC は、「ケータイdeミュージック技術規格」に準拠することを表す商標です。●「ケータイdeミュージック」は、ケータイdeミュージック・コンソーシアムの商標です。
●公衆サービス利用時はDDIポケットとの加入契約が必要です。● お問い合わせはマルチメディアカンパニーパーソナル通信事業部 PHS商品部 TEL(072)-870-4188

インターネットで商品情報掲載中
www.sanyo.co.jp/AV/H/J90/

www.sanyo.co.jp

三洋電機株式会社 / 三洋ライフ・エレクトロニクス株式会社



ハーイ、ヨーコです。
賞品が当たるチャンスがいっぱい、クイズ、コンテストなど楽しく遊べるコーナーもいっぱいです。私たちがご案内しています。

www.inpaku-sanyo.com

三洋電機はインターネット博覧会「インパク」に参加しています。

インパク 参加施設


NTT
東日本
声援は、どこまでも届く。